

平成 28 年度
仙台市市民活動サポートセンター
年間報告書

特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター

1 はじめに	7 事業報告
2 場の提供	1-1 市民活動や協働に関する情報の収集提供業務
2-1 貸室、フリースペース	1-2 施設機関紙やWEB媒体での発信による 市民活動や協働の情報提供
2-2 市民活動シアター	1-3 仙台に情報の背骨を通すプロジェクトの新運用検討
2-3 共同事務室	2 多様な相談に対する対応の実施
2-4 ロッカー、レターケース	3-1 市民活動を「知る、体験、学ぶ」機会づくり
2-5 パソコン、印刷機	3-2 市民メディアの担い手育成
3 情報の収集・提供	4-1 市民活動初心者の人材育成
3-1 情報掲示等利用	4-2 活動力強化講座
3-2 団体情報の蓄積	5 伴走型相談による個別支援
3-3 市民活動団体への情報提供	6 市民活動団体の交流機会の創出
3-4 図書の貸出	7 地域機関との連携
3-5 サポートセンター情報の発信	8 多様な主体による協働を推進するノウハウ共有
4 相談・問い合わせ対応	9 市民社会形成に必要な施策検討に向けた調査研究
5 交流・連携・その他	
5-1 外部組織との連携	
5-2 会議・研修	
5-3 視察・見学対応	
5-4 防災避難訓練	
5-5 施設維持管理	
6 集計一覧	
資料1 年間行事	
資料2 主な項目の利用状況推移	
資料3 情報関連業務利用状況推移	
資料4 市民活動共同事務室利用状況	
資料5 貸室利用状況(部屋別集計)	
資料6 貸室利用時間(曜日・時間別集計)	
資料7 利用団体分野別集計	
資料8 団体情報ストック数 分野別集計	
資料9 図書資料分類別冊数	
資料10 ホームページアクセス件数集計表	
資料11 「ぱれっと」発行状況	
資料12 相談・問合せ対応記録集計表	
資料13 視察・見学等対応報告	
資料14 サポートセンター業務運営組織	

1. はじめに～3つのエンジンで市民の力を育み、都市の力へとつなぐ～

○仙台市市民活動サポートセンター運営基本方針

平成 28 年度は、仙台市市民活動サポートセンター（以下、サポートセンター）の、指定管理期間（平成 27 年度～31 年度）の 2 年目であった。

今期は、運営基本方針として「3 つのエンジンで市民の力を育み、都市の力へとつなぐ」を掲げ、主にテーマ型コミュニティの自立・連携・創発を推進する 3 つのエンジンを構築し、かつ他機関との協力関係をもとに、多様な主体の協働によるまちづくりを推進する。

○事業実施方針

（１）自立のエンジン：地域や社会課題の解決力を持つ組織を生み出す

地縁組織や NPO 等の多様な市民活動団体やその活動者が、時流の変化に対応できる力を育む。

（２）連携のエンジン：クロスセクターによる課題解決を推進する

協働を生む人材育成や機会づくりに加え、地域機関と連携し地域内協働を促進する。

（３）創発のエンジン：協働による調査研究と、その成果の社会還元をもたらす

専門的ノウハウを持つ団体と協働で調査や研究を実施し、その結果を事業運営に反映する。事業を通して、市民の課題解決力を育み、地域へとつなぎ、協働によるまちづくりを推進する事により、調査研究の成果を地域や社会に還元する。

○平成 28 年度の成果と課題

（１）施設基本機能

①事業種類：施設サービス全般、情報収集提供業務、相談業務

②成果

- ・総利用数は件数が 18,057 件（27 年度比 94%）、人数が 66,117 人（27 年度比 103%）であった。
- ・貸室とフリースペースを合わせた諸室の利用件数は 8,629 件（27 年度比 94%）、利用人数が 65,057 人（27 年度比 102%）と伸びた。利用率で見ると研修室 5 が 5pt、市民活動シアターが 13pt、27 年度より増加している。交流サロンなどのフリースペースは、28 年度は件数で 27 年度比 91%、人数で 99%と増加はなかった。全体の件数は減少したが、収容人数が多い貸室の利用率が上昇したため、利用人数が 27 年度より伸びたものと推察できる。
- ・情報収集提供業務では、情報発信の対象によって広報ツールや情報の内容及び表現を使い分ける広報戦略を明確化した。機関紙はデザイナーや学生記者を交えて制作した事で、

若者にも読者層が拡大している。WEB も週 3 回程度の更新頻度を保ち、ホームページのソフトサービス（イベント講座等）のページビュー数が、貸室などのハードサービスを上回った。特に「マチノワ WEEK」開催に伴い、10 月～11 月はサポートセンターのホームページ、ブログのページビュー数・アクセス数が伸びた。また、サポートセンター初来館の事業参加者が一定数生まれていることや、サポートセンタースタッフに社会教育施設職員向け広報講座の依頼があることから、情報発信に継続的に取り組んでいることの成果がうかがえる。

- ・相談業務は、年間の総相談件数が 861 件と 27 年度比 132%の増加。市民活動団体からの相談も 598 件（27 年度比 129%）と増加しているが、行政・外郭団体 22 件（27 年度比 183%）、町内会・学校法人 27 件（27 年度比 180%）、企業 55 件（27 年度比 172%）からの相談の増加が著しく、多様な主体が相談できる環境が構築されつつある。

③課題

- ・総利用件数減少の要因は、レターケースの取次ぎ件数が 1,968 件（27 年度比 86%）、図書貸出件数が 142 件（27 年度比 72%）と前年より大きく減少した事である。レターケースについては、アンケートや応募受付などの大口利用が無かったこと、またインターネット環境整備による情報通信手段の変化が原因と考えられ、今後のサービスのあり方についても検討が必要な可能性がある。図書については、書架が 1F 奥にあり利用者の目に触れにくく、サービスの周知に課題があると考えられる。
- ・情報収集提供業務でも、市民活動に関するチラシ等の情報掲示受付件数が 3,893 件（27 年度比 100%）と、26 年度比 89%減だった 27 年度とほぼ同数であった。インターネット環境整備による広報手段の変化の影響と考えられる。
- ・相談業務では、年間の総相談件数 861 件（27 年度比 132%）、その内活動相談 425 件（27 年度比 126%）とどちらも増加しているが、27 年度がその前の年度より大きく減少していたため、26 年度の水準へと回復傾向にあるに過ぎない（26 年度：総相談件数 937 件、活動相談 473 件）。各区の中央市民センターや仙台市起業支援センター「アシ☆スタ」等、他機関との関係強化を図り、多様な主体からの相談を増加させる取り組みが必要である。

（2）自立のエンジン

①年度方針：「多様な市民力の裾野拡大（事業 3-1）」

「社会を変革する組織の支援（事業 4-2）」

②事業種類：市民活動者の育成、市民活動力強化、市民活動団体の組織運営基盤強化

③成果

- ・市民力の裾野拡大を目的とした「市民活動者の育成事業」は、参加者目標 90 名に対し、延べ 84 名の参加者数を達成した。内、初来館者は 15 名。事業参加をきっかけに市民活動に関わり始めた方は延べ 11 件と目標の 10 件を上回った。2 月の事業は 1 階を会場に開催するなど、29 年度に予定している機能強化を見据えた場作りも試行した。

- ・「市民活動力強化事業」は、初心者向けの助成金申請をテーマにした2講座が定員の1.6倍の参加(各24名)があり、これから助成金を申請したいと考えている団体のニーズに合致していたと考えられる。また活動力強化講座では、1ヶ月超に渡って開催した連続講座(アクションプラン・スクール)の参加団体を対象にきめ細かなフォローを実施。参加団体の事業プラン作成を支援し、課題発見力、課題解決力の強化につながった。
- ・組織運営基盤強化を目指した伴走型相談は、専門家につなぐ伴走型専門相談の実施には至らなかったが、窓口での相談や活動力強化講座の参加団体から、伴走型相談の候補となる13団体と個人2名について継続的な支援のためのカルテ化を実施した。

④課題

- ・「市民活動者の育成事業」は、継続した取り組みにより、活動参画事例が生まれている。しかし、参加者の後追い調査やアフターフォローが具体的に行えていない。今後は、事業を実施するだけでなく、事業参加者の成果発表機会を設けるなど、事業から生まれたストーリーの可視化が必要である。
- ・「市民活動力強化事業」の初心者講座は、団体のニーズをアンケートからひも解くと、人材育成など活動初心者よりも1段階ステップアップしたテーマへのニーズも垣間見える。次年度以降の開催内容を検討する必要がある。活動力強化講座は、きめ細かなフォローを実施する中で、充実したフォローを継続させるためには複数名での対応など体制を整備する必要性も見えてきた。
- ・「組織運営基盤強化」では、専門家による伴走型専門相談まで至るケースの発掘に課題が残った。上記の活動力強化講座のフォロー体制から、講座と専門相談を連動し実施する可能性が示唆されたため、実施へ向けて検討を行っていく。

(3) 連携のエンジン

①年度方針：「地域課題解決行動の推進(事業7)」

「協働によるまちづくりの未来を描く(事業8-1)」

②事業種類：市民活動団体の交流機会の創出(事業6)、多様な主体による協働の推進(事業7)、多様な主体による協働を推進するノウハウ抽出(事業8)

③成果

- ・「市民活動団体の交流機会の創出事業」では、11月にマチノワ WEEK を4日間開催。関連機関に企画提供をいただきながら、市民活動、地域活動、ソーシャルビジネス、学生活動、復興、防災など幅広いテーマを取り扱い、延べ1,100名以上の方の参加があった。公益活動に関わる人材同士が交流する機会となり、関係資本が蓄積された。また、施設1階を柔軟に活用するなど、ソフトを通じてハードのポテンシャルを引き出しながら、施設活用の新たな可能性を模索できた。
- ・「多様な主体による協働の推進事業」では、地域機関との関係性が進み、「まちづくり活動団体情報交換会おりませトーク」「まちづくり支援組織拡大情報交換会」など、新たな

連携事業が生まれた。27年度から継続している宮城野区中央市民センターとの連携事業もあり、関連機関との関係性が深くなっている。また、一部の区のまちづくり推進課とは、企画連携のみならず日常的な情報交換も適宜行える状況ができ、29年度以降の発展性も期待できる。

- ・「多様な主体による協働を推進するノウハウ抽出事業」では、28年度の調査事業で得た結果を材料にマチノワラボを開催し、まちづくりに取り組む多様な主体に属する23名が参加した。データを活用した地域づくりについて、全国や市内の事例を紹介し、地域や都市の状況をデータを通じて可視化し、より有効な課題解決に結び付けていく取り組みについて話し合うことができた。また、多様な主体と効果的に課題解決に取り組むコレクティブインパクトなど、今後の事業立案に必要な考え方が得られた。

③課題

- ・「市民活動団体の交流機会の創出事業」では、関連機関に企画提供をいただくにあたり、役割分担、情報共有、クレジット名義など共催先と調整が詰め切れない点が発生した。また、取り上げたテーマが多彩だったため、参加者から情報の取捨選択が難しいという声をいただいた。
- ・「多様な主体による協働の推進事業」では、地域活動者の活動ニーズに対応できる支援者が少ない現状を把握できた。地域機関の支援者も、異動等によりノウハウが引き継がれず、サポートセンターとの関係作りも蓄積が難しい状況と考えられる。一方、サポートセンターも地域機関と連携できるマンパワーには限りがある。そうした状況を鑑み、効率的、効果的な連携策や事業実施を検討していく必要がある。
- ・「多様な主体による協働を推進するノウハウ抽出事業」は、広報の遅れから参加者数が定員を下回った。より活発で具体的な対話がなされ、課題解決のアイデアが生み出されるような場とするためには、企業などから多様な参加者を集める必要がある。今後、連続開催し、定着した場として、社会関係資本を蓄積していく機能を果たしたい。

(4) 創発のエンジン

①年度事業方針：「協働によるまちづくりに資する仕組みや事業の検討（事業9）」

②事業種類：市民活動等に関する調査研究及び成果公表

③成果

- ・地域や社会の課題解決主体を支援する「アセスメント、コンサルティング一体の伴走型支援」のスキーム案を検討。一部が、「仙台市協働まちづくり推進事業」に取り入れられ、事業におけるサポートチーム支援体制として施策化した。
- ・課題解決と解決主体の段階に応じた支援策充実に向けた「社会課題解決プラットフォーム」を構想した。構想では、支援策を提供する多様な機関同士の連携の必要性を提示した。
- ・また、より課題解決行動を促進するには、顕在化していない都市課題にアプローチする「課題発見」の段階が重要な可能性を提示した。課題を可視化し、多様な主体と共有化するこ

とで、課題の要因把握や社会資源調達が進む可能性が高いことが浮かび上がった。

- ・全体的な進捗として、調査事業 5 年間のロードマップの予定通り進んでおり、29 年度以降の実証実験の内容を検討することができた。29 年度からの 3 年間をかけて、実証実験の試行と検証に取組める素地が整いつつある。

④課題

- ・成果に挙げた構想や考え方はあるが、サポートセンターや行政単独だけで実施できるものではない。関連機関や課題解決主体と連携するなど、具体化にはさらなるパートナーシップの拡充が必要と考えられる。
- ・一方、時流によって必要な支援策は変わるため、完成形を整えてからの実行ではなく、現時点で可能な範囲で構想具体化やモデル事業試行を進める必要がある。

○平成 29 年度に向けて

(1) 平成 28 年度トピック

①マチノワ WEEK 開催：主事業の打ち出しと日常業務の成果可視化

- ・「協働まちづくり」を表現するマチノワ企画を初開催。4 日間で 1,100 名以上の方が参加し、公益活動者の発表や交流機会を創出した。施設としても、今後 3 年間の指定管理事業の主軸が生まれた。
- ・マチノワ企画は、単独主催ではなく関連機関からの企画提供事業を共催で実施した。平成 27 年度に投資的に取組んだ「地域機関との連携事業」が、8 つの共催事業開催、およそ 57 名・団体のゲスト参加につながった。日常の情報交換など丁寧な関係構築の成果が可視化される機会であった。

②インフラ整備や他機関連携による相談業務の強化

- ・平成 27 年度末に整備した相談データベースの本格運用をはじめた。利用者との対応履歴を丁寧に記録する体制が整い、相談件数の増加（861 件：27 年度比 132%）につながった。その他、対面相談にはスタッフ 2 名で対応し、個人の思いの整理、任意団体の立上げ、NPO 法人の運営など幅広い相談に対し、より適切な回答が導出できる体制を整えると同時に、スタッフの相談対応力の向上に向けた取り組みを進めている。
- ・上記の相談対応は施設内だけでなく、起業支援センターアシスタが主催する「起業・創業なんでも相談 DAY」への参画や、太白区で行われる太白区民まつりでの出張相談としても実施。また、市民協働推進課が所管する「市民協働事業提案制度」および「協働まちづくり推進助成制度」の事前相談対応、各区のまちづくり推進課が所管する「まちづくり活動助成」の申請相談など、関連機関と連携した市民力向上の取り組みとして実施している。

③10 年ぶりに実施された料金体系変更への適切な対応

- ・仙台市の方針のもと、平成 28 年 10 月に仙台のほぼ全ての市民利用施設で料金改定が行われた。サポートセンターも平成 18 年の移転時以来、10 年ぶりの料金体系変更であった。担当課の市民協働推進課やシステム開発会社と協議を重ねながら、適切かつスムーズな新料金体系へ移行した。

- ・新料金体系運用開始後、市民活動シアターの利用が増え年間利用率が 42%に上昇（平成 27 年度 29%）。専門知識を備える職員の増員に努めたが、今まで以上に市民による活用が期待できる状況である。一方、設備の経年劣化の進行など、管理上の留意点が発生している。

（２）平成 29 年度に向けて

①仙台市協働まちづくり推進プラン 2016 の実施

- ・平成 28 年 8 月公表の標記プランでは、サポートセンターが実施すべき事業が 6 項目（活動拠点確保等に関する支援・環境整備、人材育成、若者の育成に関する支援・環境整備、事業者の社会貢献活動促進に関する支援、多様な主体の交流促進のための支援・環境整備、情報の収集・発信に関する支援・環境整備）ある。プランを踏まえつつ、指定管理者として適正かつ社会状況に合わせて柔軟な施設運営に取り組んでいく。

②施設の機能強化実施を踏まえた施設の柔軟な活用

- ・平成 29 年度下半期には施設の機能強化策として、1 階を中心としたハード整備が予定されている。1 階、3 階、5 階等のオープンスペースは、既存利用者だけでなく新たな利用者獲得に向けたコミュニケーション形成ができる可能性が高い。29 年度は、施設の顔でもある 1 階を活用する事業コンテンツを準備する。主催事業だけでなく、関連機関や市民活動者が主体として持ち込める企画枠なども設け、公益活動に関わる人材が集まるプラットフォーム的な機能づくりを、ハード整備に先駆けて取組んでいく。

③投資的事業の継続と事業開発の実施絞込み

- ・調査研究事業や地域機関との連携事業など投資的事業の成果が形になりつつある。平成 29 年度以降も、投資と実践的な開発のサイクルを、スピード感を持って運用していく。ただし開発的事業はコストがかかるため、地域機関との連携事業は関係性の発展が見込めるもの、調査事業であればモデル性が高いものなどを実施の判断材料とし、実施内容の絞込みを行う。

2. 場の提供

2-1. 貸室、フリースペース

貸室とフリースペースを合わせた諸室の総利用件数は8,629件、総利用人数は65,057人だった。27年度と比較すると件数で94%と減少するが、人数では102%と伸びた。26年度の8,759件・62,738人との比較でも利用人数が増加し、件数が減少する。件数は26年度をも下回るが、利用人数は、年々増加し、26年度より2,319人増加している。

諸室を利用した総団体数は、28年度は864団体（フリースペースを利用した個人のボランティアなども含む）であり、27年度の741団体から123団体増加し、27年度では減少傾向にあったが、28年度は大幅に増加している。

28年度諸室利用	件数	人数
貸室計	3,207	50,092
フリー利用計	5,422	14,965
諸室計	8,629	65,057
対27年度増減率	94%	102%
27年度諸室利用計	9,193	63,566
26年度諸室利用計	8,759	62,738

28年度利用団体	団体数
貸室	425
交流サロン	385
市民活動シアター	54
利用団体総数	864
27年度利用団体数	741
26年度利用団体	761

■貸室

貸室の利用率は、28年度（開館日数335日）地上階全体の研修室で90%を維持し、27年度（開館日数336日）と同様となる。変動が見られたのは、研修室3の27年度306日・利用率91%が28年度283日・利用率84%と利用日数が22日減少し、研修室5で27年度293日・利用率87%が28年度307日・利用率92%と利用日数14日増加した。

市民活動シアターは、27年度98日・利用率29%だったが、28年度では、142日・利用率42%と利用日数が44日の増加と利用率13pt増加があり、28年度の変動では最も顕著である。

諸室の利用人数で見ると、27年度より伸ばしているのは、セミナーホール：14,139人（27年度13,747人）、研修室2：6,838人（27年度6,720人）、研修室5：9,182人（27年度8,232人）で、減少したのが、研修室1：4,334人（27年度4,607人）、研修室3：3,798人（27年度4,607人）、研修室4：3,246人（27年度3,526人）で、全体の利用傾向では、大中規模の会議・研修での利用が増え、10～20名程度の会議室の利用需要が減っている。28年度は、26年度の傾向に近く、27年度の小規模会議・研修の増加とは相違する傾向となる。

市民活動シアターでは、28 年度の利用人数 8,555 人（27 年度 7,198 人）と利用件数・利用率での大幅伸長と同様に 1,357 人の増加となった。過去最高の利用者数である。（市民活動シアターの詳細は 2-2 を参照）。

貸室全体の曜日別、時間帯別の利用時間数では、28 年度と 27 年度での相違は見受けられないが、利用時間では、28 年度 11,320 時間（27 年度 10,818 時間）で 502 時間増えた。曜日では、土日の利用が多く、水曜日の利用が少ない。（ただし、第 2、第 4 水曜日は休館日）時間帯では、13 時～16 時の利用が多く 9 時、21 時と 17 時～19 時の利用が低い。（資料 6 参照）

諸室利用状況	件数	人数	利用率	27 年度利用率
セミナーホール	355	14,139	80%	79%
研修室 1	559	4,334	94%	93%
研修室 2	677	6,838	96%	97%
研修室 3	410	3,798	84%	91%
研修室 4	572	3,246	94%	94%
研修室 5	481	9,182	92%	87%
小計	3,054	41,537	90%	90%
市民活動シアター	153	8,555	42%	29%
合計	3,207	50,092	83%	82%

■ フリースペース

交流サロンなどのフリースペースは 27 年度までは堅調に増加を続けていたが、28 年度は、件数（5,422 件）で 27 年度比 91%、536 件減、人数（14,965 人）では、27 年度比 99%、129 人減であった。

28 年度も増加傾向が維持されるのではと想定していたが、利用増はなかった。26 年度（利用件数 5,510 件、利用人数 13,705 人）との比較では、件数は減るものの利用人数が 1,260 人増えており、27 年度との比較では低調ではあるが、26 年度からの状況から利用団体の日々の少人数での打ち合わせや事務作業などの活動が低調であったとはいえない。

交流サロン状況		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
フリースペース	件	4,720	4,808	5,510	5,958	5,422
	人	13,481	12,002	13,705	15,094	14,965
27 年度比	件	156%	102%	115%	108%	91%
	人	135%	89%	114%	110%	99%

■総括

28年度は、総利用者件数 18,057 件、(27年度 19,152 件)では減少するものの、利用者総数 66,117 人(27年度 64,294 人)は上回り、情報利用者数※10,133 人の参考人数を加えると合計利用者数は、76,250 人と利用者数が大幅に増加した。

	件数/人数	
	27 年度	28 年度
総利用者件数	19,152	18,057
利用者総数	64,294	66,117
情報利用者数(参考)	—	10,133
合計利用者数	64,294	76,250

※情報利用者数：1F でチラシ、NL、黄色い台などの情報を閲覧もしくは収集している方を目視カウント。PC 利用、図書の貸し出し利用者は含めない。

地上階の貸室では、セミナーホール、研修室 5 といった大中規模の部屋の利用が増え利用者数の増加につながった。市民活動シターでは、顕著に利用の好調の状況が見られた。フリースペースの利用では、利用増加傾向が止まった状況となったが利用人数は 26 年度より多く利用された。

28 年度	件数	人数
貸室利用	3,207	50,092
フリースペース利用	5,422	14,965
印刷機利用	1,225	—
情報掲示受付	3,881	—
利用者 PC 利用	1,338	—
相談	861	993
レターケース取扱い	1,968	—
来訪者	18	67
図書貸出	137	—

諸室の利用状況としては、件数こそ減少しているが、利用者数が増加し、市民活動シター

の 10 月の料金改定の影響で利用内容の変化が見られ、全体として利用の活性が図られた結果となった。

諸室を利用した団体のうち利用回数が多い順に上位 20 団体の種別を見ると「学生団体」が 7 団体と最も多く、次いで「子ども・社会教育」「人権・ジェンダー」各 3 団体、「福祉」「国際交流・協力」各 2 団体。27 年度では見られなかった「国際交流・協力」が利用回数を伸ばしてきている。

諸室利用団体種別	上位団体数
学生団体	7
子ども・社会教育	3
人権・ジェンダー	3
福祉	2
国際交流・協力	2

また、貸室を利用した団体でも 27 年度同様に「国際交流・協力」が 6 団体と最も多く、交流サロンを利用した団体では、「学生団体」が 8 団体と最も多い。27 年度との相違では、貸室で「環境」が増え、交流サロンでは「国際交流・協力」が多くなった。

貸室利用団体種別	上位団体数
国際交流・協力	6
福祉	4
子ども・社会教育	2
環境	2

利用状況的には、個人も含め「国際交流・協力」の活動団体の利用が増え、定期の利用や参加人数の増加が見られる。また、学生団体の活発な活動状況は継続されており、良い形で若い世代の活動への興味・関心の継承が行われていると感じられる。

交流サロン種別	上位団体数
学生団体	8
国際交流・協力	3
人権・ジェンダー	3
子ども・社会教育	3
環境	1
市民活動支援	1
震災復興支援	1

2-2. 市民活動シアター

市民活動シアター（以下シアター）の 28 年度（開館日 335 日）の利用状況は、利用日数 142 日、利用時間 1,286 時間で利用率 42% だった。利用者人数は、8,555 名であった。

	26 年度	27 年度	28 年度
利用日数	110	98	142
利用時間	996	922	1,286
利用率	34%	29%	42%
利用人数	7,672	7,198	8,555

27 年度（開館日 336 日）からは、利用日数が 44 日、利用時間で 364 時間、利用人数で 1,357 人増加した。自己使用でも 21 件の増加であった。

利用団体数は、54 団体で NPO（11 団体）・愛好会グループ（7 団体）が多く、利用内容はコンサート（45 件）・交流イベント（41 件）・シンポジウム/講演会（35 件）が多い。27 年度より演劇は減少した。

利用内容と利用団体の構成では、NPO 開催での「シンポジウム・講演会」と「交流イベント」での利用が多いが、具体的内容ではワークショップを含む利用が多くを占める。28 年度の自己使用では

利用団体分野	団体数
NPO	11
愛好会・グループ	7
市民劇団	6
実行委員会	3
教室	11
企業	4
各種団体	9
個人	3
利用団体合計	54
自己使用	1
合計	55

WEEK などの自主事業で多く利用しているので「交流イベント」での利用が多い。他団体では、「発表会」「コンサート」での利用が多いことと「リハーサル（稽古）」での利用も増えた。

利用状況が増加した要因は、平成 28 年 10 月に実施された料金改定である。改定の結果、非営利利用料金が安価になったことから利用が増加した。一方、管理に関わる人員体制整備や設備の経年劣化進行など、運営の留意事項も発生している。

	月	火	水	木	金	土	日	年間	27 年度
申込件数	17	15	4	19	25	35	37	152	98
内自己使用件数	13	11	3	12	7	3	2	51	30
年間利用率	33%	29%	13%	38%	49%	69%	73%	42%	29%
27 年度利用率	17%	22%	7%	16%	25%	41%	67%	29%	

※1 日に複数件の利用もあるため、申込件数と利用日数は整合しない。



2-3. 共同事務室（事務用ブース）

事務用ブースは、第 17 期終了時点（平成 28 年 8 月末まで）で、5 団体が入居。平成 28 年 8 月末までに 2 団体が退去し、第 18 期（平成 28 年 9 月から）は、17 期からの継続団体 3 団体だったが、平成 29 年 1 月末に 1 団体が退去し、平成 29 年 3 月末現在、10 ブース中 2 ブースが利用されている。開館以来、延べ入居団体は 71 団体に変動はない。

28 年度も引き続き、入居団体が個々に持つ資源や情報を入居団体同士で交換するための「情報交換会」を実施した。

（1）情報交換会

①平成 28 年 9 月 23 日（金）

- ・ 2 団体 3 名参加
- ・ 新規入居団体紹介

②平成 28 年 12 月 9 日（金）

- ・ 3 団体 4 名参加
- ・ 活動報告と今後の予定

事務用ブース 利用状況	27 年度	28 年度
利用件数	653	435
利用人数	1,186	839

◆第 18 期事務用ブース入居団体◆

平成 28 年 9 月 1 日時点

- ・ NO.4 日本勤労者山岳連盟宮城県連盟朋友会
- ・ NO.6 NPO 法人仙台・みやぎ消費者支援ネット
- ・ NO.1 明るい社会づくり運動仙台地区推進協議会

平成 29 年 1 月 31 日にて退去

- ・ NPO 法人仙台・みやぎ消費者支援ネット

2-4. ロッカー、レターケース

ロッカー、レターケースでは第 18 期（平成 28 年 9 月～平成 29 年 8 月）の募集を行った。

ロッカーの年間平均利用率は、大 100%、中 95%、小 71% となった。ロッカー全体の利用率は、27 年度とほぼ同程度で、大きな変化はないが、小・中とも空き状況が恒常化しており、ロッカーサービスの広報に工夫が必要と思われる。ロッカーを最大 3 個まで利用できる運用は継続している。

レターケースの利用率は、

年平均利用状況		27 年度	28 年度	年度差
ロッカー 利用状況 (利用率)	小	75%	71%	▲4pt
	中	97%	95%	▲2pt
	大	97%	100%	3pt
	計	89%	89%	▲1pt
レターケースの利用状況 (利用率)		57%	55%	▲2pt
レターケース 取次ぎ件数	郵便	2,107 件	1,822 件	▲ 285 件
	FAX	170 件	146 件	▲ 24 件

55%で 27 年度（57%）より減少した。取次件数は、1,968 件で、27 年度の 2,277 件から 309 件減少している。26 年度の 3,326 件からは 1,358 件減少しており、利用率の減少、取扱い件数の減少は、メールや Twitter などの WEB ツールの普及によるサービスの必要性低下が要因と考えられ、今後も減少傾向にあると思われる。取扱いの多くを占めていたイベントの参加公募や、市民活動

団体が市民を対象にしたアンケート回収などの減少もあり、利用方法の提案を含めた広報の工夫も必要と思われる。

ロッカー、レターケース、フリースペースの三位一体の利用による団体活動の拠点としてのサービス訴求に力点を移す必要を感じる。

【活動報告書】

ロッカー、レターケース利用団体には年 2 回、事務用ブース利用団体には年 4 回活動報告書をご提出いただいている。

活動報告の提出状況では、第 18 期の前半（平成 26 年 9 月～平成 29 年 2 月）期間で、3 月 31 日までに提出期限としてる団体 111 団体中 26 団体より提出が遅延している。「市民への公開情報」といった趣旨で依頼しているが、認知訴求とともに一層の提出の促進を図る必要がある。

ロッカー 利用数	設置数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均 利用率
小	80	59	61	63	64	64	52	52	54	56	53	54	53	71%
中	28	28	28	28	28	28	25	25	26	26	25	26	25	95%
大	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100%
計	118	97	99	101	102	102	87	87	90	92	88	90	88	89%
月次利用率		82%	84%	86%	86%	86%	74%	74%	76%	78%	75%	76%	75%	79%

レターケース 利用数	設置数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均 利用率
設置数 168		96	97	98	99	99	86	86	88	89	90	90	92	93
月次利用率		57%	58%	58%	59%	59%	51%	51%	52%	53%	54%	54%	55%	55%

レターケース 取次件数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	平均 件数
郵便	237	158	129	140	103	104	155	101	118	298	131	148	237	1,822
FAX	16	13	20	0	1	21	27	13	11	3	15	6	16	146
計	253	171	149	140	104	125	182	114	129	301	146	154	253	1,968

2-5. パソコン、印刷機

■パソコン

28年度の利用者用パソコン利用は、1,338件で、27年度の1,463件を125件下回る。27年度で大きく伸長したが、28年度が27年度比で下回るも利用の増加傾向が落ち着いた程度と思われる。26年度よりは144件上回っている。

無線LANの利用もあり、インターネット利用の件数の増加が顕著であることは容易に推察できる。

パソコン 利用状況	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
合計	1,624	1,457	943	1,194	1,463	1,338

■印刷機

印刷機利用は、件数で1,225件、枚数は1,038,298枚で、27年度（件数1,458件、枚数1,222,901枚）より利用件数、利用枚数共に減少した。件数で233件、枚数で184,603枚減少し、過去最低の減少状況であった。設置した印刷機が両面印刷でも1枚とカウントされるのが主な要因だが、ペーパーレス化、WEB環境の発展、ネットプリントサービスの普及など社会状況の変化も要因となり、利用状況が年々減少しているものと考えられる。（コピー機の利用枚数は14,720枚、27年度比100.3%）

印刷物の内容は、全て減少しているが、内容の比率に大きな変化は認められない。27年度では、会議資料等が増えていたが、28年度はその傾向もなく、新印昨機の導入もあることから推移と内容を注視する必要があると思われる。

印刷機	印刷物の内訳		
	チラシ	ニュース レター	その他
4月	118	4	67
5月	49	5	80
6月	43	10	56
7月	40	6	63
8月	38	3	46
9月	37	6	50
10月	44	1	52
11月	39	8	45
12月	24	6	25
1月	28	9	40
2月	22	5	39
3月	37	7	52
計	519	70	615
27年度	673	76	720

印刷機 利用状況	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
利用件数 (件)	1,713	1,876	1,675	1,595	1,458	1,225
利用枚数 (枚)	1,669,297	1,445,588	1,256,828	1,258,520	1,222,901	1,038,298

※1 件の申込で、「チラシとニュースレター」というように複数の物を印刷する場合があるため、内訳の合計と印刷利用件数は一致しない。

3. 情報の収集・提供

3-1. 情報揭示等利用

市民活動団体のチラシ、ポスター、ニューズレターなど情報揭示利用件数は、3,893 件で 27 年度比 100%と変化はなかった。

情報の種別でみると、ポスター、ニューズレターについては 27 年度を下回っているが、チラシが 27 年度を上回っている。

仙台に情報の背骨を通すプロジェクト（通称：骨プロ）の利用件数は 800 件を上回り、平成 26 年度までの水準に戻っている。

■情報揭示等利用件数

	26 年度	27 年度	28 年度
チラシ	2,514	2,336	2,369
ポスター	295	271	249
ニューズレター	1,340	1,287	1,275
計	4,249	3,894	3,893

■仙台に情報の背骨を通すプロジェクト利用件数（通称：骨プロ）

	26 年度	27 年度	28 年度
年度計	839	796	817

■骨プロ参加施設(平成 28 年 3 月末時点 11 施設)

- ・ 仙台市生涯学習支援センター
- ・ せんだいメディアテーク
- ・ 日立システムズホール仙台
- ・ エル・パーク仙台
- ・ エル・ソーラ仙台
- ・ 仙台市ボランティアセンター
- ・ のびすく仙台
- ・ のびすく泉中央
- ・ のびすく長町
- ・ 戦災復興記念館
- ・ 仙台市市民活動サポートセンター

3-2. 団体情報の蓄積

団体情報ストック数は県内外あわせ 4,679 団体で、27 年度比 101%と微増した。団体情報は、サポートセンターに持ち込まれたチラシ・ニューズレター・パンフレット等を保存し蓄積してきたもので、サポートセンター利用者を軸にした市民活動団体の情報である。

これらのファイルは、市民活動団体の活動状況のアーカイブとしての機能を果たしている。平成 28 年度は、1 階情報サロンにおける、情報のレイアウトを再考。利用者の導線に合わせた情報の配置を行った。また、サインデザインの統一、ニューズレターの配架場所の整理や一覧を作成。より情報に触れやすく、活用できるようになった。

分野	情報利用 *1			
	団体数	構成比	県内	県外
福祉	546	12%	464	82
健康・医療・スポーツ	465	10%	389	76
環境	606	13%	419	187
まちづくり	560	12%	491	69
子ども・教育	597	13%	477	120
人権・ジェンダー	363	8%	257	106
国際交流・協力	340	7%	211	129
文化・芸術	691	15%	603	88
市民活動支援	334	7%	102	232
その他	177	4%	141	36
計	4,679	100%	3,554	1,125
27 年度累計蓄積数	4,652		3,539	1,113
27 年度比	101%		100%	101%

■ 団体情報ストック数分野別集計（平成 28 年度累計蓄積数）

*1 情報利用：団体情報の蓄積数

3-3. 市民活動団体への情報提供

サポートセンターでは、市民活動に役立つ情報をテーマごとに編集した「市民活動お役立ち情報」を利用者向けに提供している。

これは、館内のチラシラックに配架し、自由にお持ち帰りできるほか、ホームページからもダウンロードできるようにしている。このサービスは必要なテーマだけ自由に選択できることもあり、好評である。28 年度の発行総数は 27 年度と比較して全体的に増加傾向にあった。

27 年度 11 月から追加した NO. 11「チラシを作るコツ」は、印刷ペースとしては突出して高い印刷枚数を記録した。情報発信に関する情報提供のニーズが高く、テーマ設定が適切であったことがうかがえる。

28 年度から NO. 12「イベント実施ノウハウ」を追加した。6 月から発行のため、10 ヶ月間のデータだが、高い印刷枚数を記録している。実際に市民活動を始めるとあたり、活動に関わる全てのことが初めての体験となる。そのため、現実的な企画立案から事業実施までのノウハウの情報提供についても、ニーズが高いテーマであると考えられる。

その他、「チラシ・ポスターを置けるスペース」「メディア活用大作戦」（情報発信）、「NP0 って

なんだろう？」（NP0 基礎知識）は依然として人気が高いテーマである。

■お役立ち情報 印刷状況 （平成28年度累計）

NO.	テーマ	26年度	27年度	28年度
1	NP0ってなんだろう？	440	324	420
2	チラシ・ポスターを置けるスペース	600	329	430
3	市民活動団体が利用できる機材一覧	350	298	400
4	仙台市内ホールマップ	370	245	390
5	ボランティア相談窓口	400	215	400
6	助成金のいろは	420	306	400
7	規約の作り方	420	226	400
8	報告書の作り方	300	262	400
9	メディア活用大作戦	290	303	450
10	名義後援って、どうやって受けるの？	320	224	400
11	チラシを作るコツ※		240	600
12	イベント実施ノウハウ※			560
	合計	3,910	2,972	4,090

※新規テーマ。「チラシを作るコツ」は平成27年11月から配架、「イベント実施ノウハウ」は平成28年6月から配架。

3-4. 図書の貸出

28年度の図書貸出件数は142件、貸出冊数は221冊と、27年度と比べ貸出件数が68%に留まった。28年度はマチノワ WEEK 実施のため、事業を一時期に集中開催することとなり、図書登録を促す機会のある事業が比較的少なかったことが影響のひとつと考える。

事業1-2と連携し、サポートセンター通信「ばれっと」で紹介するお役立ち本を図書コーナー内でPRするなど、今後も機を逃さないサービスのPRに取り組んでいきたい。

■図書登録、貸出件数

	26年度	27年度	28年度
登録者数（人）	77	54	18
貸出件数（件）	242	210	142
貸出冊数（冊）	348	307	221

3-5. 情報の収集・提供

より多くの方へサポートセンターの情報や市民活動に関する情報を届けるため、情報発信の対象によって、広報ツールを使い分け、情報発信を行っている。明確な広報戦略を意識することで、紙媒体・WEB 媒体それぞれの役割も明確になり、質が向上した。事業全体の広報戦略にも好影響を及ぼしている。加えて、事業と連携し、事業参加者のその後の活躍を情報発信でサポートできた。

また、サポートセンターの広報物が、市民センター関係者の目に留まり研修のご依頼をいただいた。平成 28 年度中に外郭機関の職員向けにスキルアップを目的とした広報講座を開催することができ、市民活動や活動の芽を育む公共施設との関係が育まれてきた。

(1) サポートセンター通信「ばれっと」の発行

ばれっとは機関紙として、多様な主体の協働によるまちづくりに必要な情報を、より多くの市民に届け、市民活動や協働によるまちづくりへの興味関心を高めるためにフリーペーパーのスタイルで発行している。

ばれっとの役割は、市民活動や NPO に関心のない人に情報を届けるということ。

特集では、「多様な主体の協働によるまちづくり」を推進する施設として、協働事例を図解などを交えて紹介。また、これまで団体紹介や活動を紹介する企画が基本だったが、顔とも言える表紙では、仙台で注目すべき活動者を紹介。市民活動や NPO に関する情報の接点を「人」にすることで、関心のない人の共感を促し、手に取りやすい紙面を目指した。加えて、市民活動団体を紹介するコーナーを増やした。平成 27 年度のリニューアルから継続して、特集以外の取材執筆は、学生記者や市民ライター講座受講生と連係。情報に「仙台の市民活動を市民、若者が伝える」という付加価値を付けるとともに、市民活動に関する情報を発信する側に市民を巻き込むことで、情報流通の活性化を試みた。

情報発信をする側になった市民、学生によってばれっとが拡散され、読者層が広がった。リニューアルから 2 年。「ばれっとに自分の団体を掲載してほしい」「表紙に載ることを目標のひとつに活動を始めた」などの声もあり、媒体の認知度が広がりつつある。また、紙面で取り上げられたことをきっかけに、団体や個人に対し、講演依頼やマスメディアからの取材依頼があった。活動普及や推進をサポートすることに繋がった。

(2) ホームページの管理

ホームページでは、サポートセンターの機能紹介と事業に関する告知を行っている。

事業や相談などソフト面のサービス周知に関しては、平成 27 年のホームページ改修から徐々に改善。28 年度のアクセス解析のページビューランキングによると、「貸室(地上階)」などのハード面サービスのページよりも、「アクセス」「イベント・講座」のページが良く見られている。事業広報が始まった時期と重なることから、「アクセス」のページを見た方々の目的が貸室利用だけではなく、事業参加のためだということも伺える。さらに、マチノワ WEEK 開催に伴い、10 月、

11 月事業広報を強化。通常、「イベント・講座」のページビューは 700 件程度のところ、マチノワ WEEK の広報を開始してから 1,093 件に達し、「マチノワ WEEK～まちづくりのアイデア広場「触れる」「交わる」「考える」～」のページビューに関しては、2,526 件となった。（資料 10 参照）連携機関と連携した広報、ゲスト等による SNS での拡散の効果でもある。

現代において多くの人が情報収集と発信をインターネットで行っていることから、SNS 活用は欠かせないとする。各事業参加者アンケートや相談票から、サポートセンターの情報を入手する方法として、ホームページ・ブログが活用されていることが分かっている。

（３）ブログの管理

サポートセンターの日常的な情報発信ツールとして、仙台の市民活動情報や震災復興関連情報を掲載している。ボランティア募集情報や助成金情報など、速報性やニーズも意識しながら、頻繁に更新を試みた。

しかし、アクセス数は、マチノワ WEEK 広報期間の 10 月、11 月を除き、減少した。27 年度から見ると、記事数は 45 件、訪問者は 2,197 人、ページビューは 54,825 件減少。

更新頻度を上げ、維持していく体制整備が必要とする。また、SNS での拡散により、ブログページに誘導していきたい。

（４）twitter の管理

休館日案内、ホームページ・ブログの更新状況等、サポートセンターからのお知らせを拡散することを目的に運用している。

フォロワーが微増を続けており、平成 28 年 3 月末でおよそ 1,800 人、平成 29 年 3 月末では 1884 人となっている。

ブログ投稿記事数およびアクセス数

月	28 年度		
	記事数	訪問者数	PV
4 月	16	2,289	30,877
5 月	15	2,196	32,213
6 月	14	1,997	24,115
7 月	21	2,213	26,483
8 月	20	1,640	25,967
9 月	23	2,042	27,690
10 月	33	2,561	39,452
11 月	22	2,008	30,120
12 月	18	1,771	27,446
1 月	15	1,523	29,762
2 月	17	1,954	27,542
3 月	17	1,969	32,079
計	231	24,163	353,746
27 年度	295	26,360	408,571

4. 相談・問い合わせ対応【参照：資料 12-1、12-2、12-3】

(1) 目的

市民活動支援施設として、①施設の活用を含めた利用相談(施設利用)、②市民活動に関わる情報発信及び収集支援(施設サービス)、③専門性を要する市民活動を行う上での個別の運営等の相談(活動相談)を実施し、個人から団体、行政や企業など幅広い主体者に対し、情報の提供や経営相談など専門的な幅広い支援を行う。

(2) 概要

施設開館時間内に、予約の有無を問わず、市民活動に関わる相談を無料にて実施する。

主に窓口にて行う施設利用判断や市民活動団体の情報提供と、NPO 法人の立ち上げや団体運営や資金調達など個別の事案に対して、窓口や電話を問わず相談対応する個別対応がある。

(3) 集計方法に関して

27 年度までの相談分類及び集計は、復興支援の内容を中心に記録することを意図していた。しかし、施設利用を新規に行う利用相談や、復興支援に付随する運営相談の件数は震災から 5 年が経過したこともあり、年々減少傾向にあった。また、27 年度の条例改正で新たに示された「自立、連携、創発」という理念や、理念に基づく「相談つながるサロン」の運用のあるべき姿と不整合が発生していた。上述の理由から、現在の仕様に合わせたケース記録、利用者サービスの向上、状況に応じた適切な支援策の提案を目指すため、集計の仕方を検討した。

28 年度からの相談事業の集計項目は、相談者の属性と内容を、仕様、条例理念、これまでのセンター利用者層の観点から変更した。具体的には、相談者主体については、市民（個人）、市民活動団体、町内会、企業（営利組織）、大学（教育機関）、行政、その他に分類している。また、対応内容については、自立、連携、創発、情報、その他に分類している。

集計結果については次の 3 種類の方法で行っている。

①相談サマリー：貸室利用やチラシ配架など、施設利用の問合せを【窓口】、活動内容や運営相談などを【相談】、これらに当てはまらない対応を行った場合に【その他】、事業参加者の所属を集計する【事業】に分類。事業参加者の意見も合わせて記録することにより、利用者サービスの向上に役立てている。ただし、センター事業に複数回参加した場合はカウントされないため、各事業参加者の総数と相談サマリーにおける【事業】集計は一致しない。

②相談集計結果【主訴－相談主体】：上述の相談サマリーのうち【相談】について、相談主体の属性と相談主訴を詳細に集計した。27 年度までの活動相談では、市民活動基礎相談、活動立ち上げ・運営相談、市民活動専門相談、情報提供・調査の 4 項目で集計していた。28 年度からは、自立・連携・創発の理念に基づいた 12 項目と細かい分類を行うことで、相談主体の状況に合わせた対応

記録と、より具体的な相談の傾向を把握し、相談ニーズの分析を目指した。横軸の【伴走】については、サポートセンター事業「伴走型相談による個別相談」該当候補の相談に関して、新規相談もしくは継続対応について集計した。

③相談集計結果【内容－相談者】（複数選択あり）：これまでの集計方法では、例えば、NPO 法人与協働する団体が同席した対応や、団体立上げ相談の内容から助成金の相談に移行した場合など、複数の属性や内容を集計していなかった。そこで、対応した全ての内容・相談者を記録し、かつ複数選択を含めることで、柔軟に対応する集計を行った。

（４）成果

①全般

28 年度の相談件数は 861 件（27 年度比 132%）と増加した。27 年度から、市民活動や協働を後押ししていくべく、幅広い分野で活動する市民活動団体・企業・地縁組織・行政・個人など多様な相談者が常時相談できる相談コーナーの運営に取り組んだ。28 年度については、窓口と活動相談をあわせ「自立」段階の相談がほとんどを占めていた。

27 年度までは、経営相談や広報、会計などの日常業務や団体のマッチング等の事業相談を「市民活動専門相談」として集計していた件数が、27 年度 115 件（26 年度 99 件）と増加傾向にあった。集計方法は違うものの、継続して「自立」段階の相談ニーズが高いことが伺える。

相談方法に関しては、27 年度と同様、電話相談から対面相談へのシフトが継続しており、7 割強が来館相談となっている。

②相談者の背景

相談者の属性は、昨年と比較すると、全ての属性で増加傾向である。具体的には、非営利団体 598 件（27 年度集計 NPO/公益法人と任意団体の合計値で 27 年度 465 件、27 年度比 129%）行政・外郭団体は 22 件（27 年度 12 件、27 年度比 183%）、企業は 55 件（27 年度 32 件、27 年度比 172%）と増加している。

活動相談についても、28 年度は 425 件（27 年度 338 件、27 年度比 126%）と増加傾向であった。活動相談の属性は個人・その他を除き増加傾向であった。具体的には、非営利団体 259 件（27 年度集計 NPO/公益法人と任意団体の合計値で 27 年度 192 件、27 年度比 135%）、行政・外郭団体 16 件（27 年度 8 件、27 年度比 200%）企業 34 件（27 年度 19 件、27 年度比 179%）と増加している。

また、27 年度までは「その他」として分類していた町内会や学校法人による相談が全体で 27 件（27 年度 15 件、27 年度比 180%）、そのうち活動相談は 18 件（27 年度 8 件、27 年度比 225%）と増加していることが確認できた。

事業参加者については、参加後の思いの整理や、サポートセンター主催イベントを経て、実際

に活動の立ち上げ相談に至ったケースが見られる。

27 年度に引き続き、これまでのサポートセンターの主な利用者層とは違う属性の相談が増加傾向にある。多様な主体に対し幅広く相談対応を行っている。

③相談主訴

貸室やチラシ配架サービスなど、施設利用についての相談は、412 件（27 年度 312 件、27 年度比 132%）であった。利用相談から活動相談につながるケースも見られた。

活動相談の主訴を「自立」「連携」「創発」「情報」「その他」の各段階に分類すると、「自立」の段階が 275 件で最多。「連携」39 件、「創発」13 件、「情報」77 件、「その他」21 件だった。サポートセンターに寄せられている活動相談の多くが、「自立」の段階の相談であり、現在のところ「創発」の段階の相談（制度等の相談、政策提言について）は、まだまだ少数である。

相談主体を見ると、任意団体、市民（個人）については「課題解決に取り組もうとする段階の相談」を主訴としている相談が多く、任意団体 52 件、市民 50 件であった。NPO 法人については「組織運営基盤に関する相談」が 46 件と最多。企業や行政・外郭では「多様な主体による協働の相談」が多い傾向にある。

全体的には自立に関する相談が 275 件と多く、次いで連携に関する相談。創発に関係する相談は数件しかない。

「組織運営基盤に関する相談」では、必要に応じて専門家につなぎ、課題を解決に向けてスタッフが伴走して支援する「伴走型相談」を想定して準備しているが、実際にはなかなか専門家へのつなぎを必要とするケースは発生していない。

「組織運営基盤に関する相談」で、相談に訪れる利用者の多くは、「労務のこの処理がわからない」「会計のやり方がわからない」「助成金の申請書を見て欲しい」など詳細な主訴を持っていることが多い。その原因を探ると、主訴が問題の本質とは限らないが、目の前の主訴が喫緊の問題であるため、主訴の解決を急ぐあまり、問題の本質を解決するための伴走型相談に結び付きにくいことが伺える。

④相談内容

複数選択による集計結果を見ると、「情報収集・情報提供」が 185 件と最多となった。相談主訴に対する単純な回答ではなく、付随する情報提供を行うことで、幅広い支援を行っている。具体的には、助成金情報、協働する見込みのある団体情報、団体間ネットワークに関する情報提供などである。

活動相談の内容・相談者について「自立」「連携」「創発」「情報」「その他」の各段階に分類すると、「自立」の段階が 369 件と最多。「連携」143 件、「創発」40 件、「情報」185 件、「その他」36 件。相談主訴件数と照らし合わせると、「連携」と「情報」の増加が大きい。単純な相談者の質問に対する回答ではなく、関連する団体の紹介や、連携・協働を促すなど、主訴に付随する情

報提供を行っている。

「自立」の相談の中でも「課題の解決の取り組みようとする段階の相談」が 156 件と最多であることから、何らかの課題に対する具体的な企画立案や組織運営以前の、相談者の取り組みたい課題や思いを整理する段階から対応できることに、サポートセンターの相談ニーズがあることが伺える。

「自立」→「連携」→「創発」という流れを考えると、第 1 ステップの「自立」に関する相談が多いのは自然なことではある。しかし、現在のところ、「自立」の割合が極端に多い。将来的には「自立」：「連携」：「創発」の割合を 6：3：1 程度まで引き上げる必要があると考えられる。

「自立」の段階の相談が多い理由を考察すると、①サポートセンターの利用層として、「自立」の段階の利用者が多い。②サポートセンターで「連携」「創発」の相談に対応できると思われていない、などが考えられる。

⑤その他

仙台市市民協働推進課の仙台市市民協働事業提案制度の事前相談に加え、28 年度からは協働まちづくり推進助成制度の事前相談にも対応している。

28 年度から、せんだい創業支援ネットワークの構成団体として、公益社団法人仙台市産業振興事業団が運営する仙台市企業支援センター「アシ☆スタ」と連携し、「起業・創業なんでも相談 DAY」に出張相談員として参画した。また、太白区中央市民センターの事業協力、太白区まちづくりサロンにアドバイザーとして参与、宮城野区中央市民センターの事業企画など、地域機関による事業実現のための相談にも応じている。

その他、活動力強化講座の参加団体に対し、フォローとしてアウトリーチ相談を実施。相談実施後の法人設立などの実績につながった。

5. 交流・関係・その他

5-1. 外部組織との関係

他組織とサポートセンターの連携を深め、効果的な管理・運営を行うため、下記のネットワーク会議などへ参加や、イベント運営協力を実施した。

会議名、連携先	日程	内容
会議・事業連携等		
公益財団法人 仙台ひとまち交流財団	4月14日、8月26日	児童館職員向け 広報講座 打ち合わせ
宮城野区まちづくり推進課	4月25日、9月12日、9月16日	地域メディアネットワーク会議
社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会	6月16日	評議員会
創業支援ネットワーク会議	6月24日、9月15日、10月12日、3月21日	事業打合せ
みやぎ NPO プラザ	6月30日	市民活動支援施設長会議
WE SCHOOL	7月12日	事業運営 MTG 参加
一関市シニアプラザ	8月3日	運営相談
仙台市アクションプランMTG	10月4日	オブザーバー参加
仙台市ボランティアネットワーク会議	11月15日	顔合わせ
ビジネスグランプリ 2017	2月5日	運営支援
Sendai Social Innovation Night	2月7日	参加
Sendai for Start ups	2月12日	参加
仙台市生涯学習支援センター	1月27日	広報講座実施
宮城野区中央市民センター 若者社会参画型学習推進事業	4月9日、4月18日、5月10日、5月23日、6月1日、6月9日、6月25日、7月2日、7月18日、7月26日、8月2日、8月31日、9月3日、9月29日、10月1日、10月15日、10月28日、12月5日、12月	事業計画相談、事業実施など (詳細は事業7報告による)

	7 日、12 月 10 日、1 月 6 日、1 月 15 日、3 月 3 日、3 月 4 日	
宮城野区中央市民センター 市民企画員講座	3 月 10 日	宮城野カルタづくり 企画相談
太白区中央市民センター	6 月 7 日、6 月 9 日	事業協力相談 (詳細は事業 7 報告による)
太白区まちづくり推進課	6 月 13 日、8 月 27 日、9 月 13 日、10 月 16 日、12 月 22 日、1 月 29 日	区民まつり、カフェ太白など打合せ (詳細は事業 7 報告による)
宮城野区まちづくり推進課	2 月 8 日	まち活助成報告会 オブザーバー参加
仙台市 5 区まちづくり推進課	5 月 24 日、8 月 9 日、8 月 22 日、9 月 15 日、10 月 3 日、10 月 4 日、10 月 6 日、11 月 5 日、1 月 20 日	情報交換会実施、事業 MTG (詳細は事業 7 報告による)
その他		
中学生職場体験受け入れ	11 月 15 日、11 月 16 日、11 月 17 日	五橋中学校

5-2. 会議・研修

サポートセンターの管理・運営を円滑に、かつ効果的に行うため、下記のように各種会議（打ち合わせ）を開催した。

○仙台市と指定管理者との定例打ち合わせ

開催頻度：1 回／月

所要時間：約 2 時間／回

内容：管理運営状況の報告・連絡・相談や懸案事項の協議

○主任会議

開催頻度：2 回／月

所要時間：約 2 時間／回

構成メンバー：センター長、副センター長、および各主任

内容：各部門・事業の進捗管理とサポートセンター運営に関する課題や懸案事項に関する協議

○ケースミーティング・全体ミーティング

開催頻度：2回／月（休館日活用）

所要時間：1時間／回

内容：相談業務および施設運営管理についての共有や研修。

○チームミーティング、部門会議、各事業ミーティング

随時開催

○研修

各種研修へ随時参加

内容：外部研修では、NPO 中間支援組織の新人および職員対象者への全国規模の研修の他、下記の各研修に参加した。また、内部研修として NPO 中間支援組織に在職する職員ならば知識として知っておくべき対人援助業務に関するもの、協働、組織マネジメントについてなどのさまざまな研修を行った。

外部研修参加日程表

日程	内容	参加者
6月29日	日本 NPO センター「被災した地域を支えるコミュニティの力～これからのコミュニティづくりにおける民間非営利組織の役割～」報告会	黒川
7月15日	宮城大学 地域課題研究セミナー みんなでつくる総合計画	黒川
7月21日	公共施設の自主点検研修会	大橋
8月6日	みやぎ NPO プラザ NPO 支援センター 職員研修	宮崎 小野 黒川 村上 菅原
11月11日	仙台市起業支援センター アシ☆スタ 京都コンソーシアム勉強会	鈴木
11月19日	せんだい男女共同参画財団 男女共同参画フォーラム	松田
11月23日	市民セクター全国会議（東京）	嶋村
11月26日	みやぎ NPO プラザ 15 周年記念フォーラム	佐藤 小野
12月13日、14日	日本 NPO センター NPO 支援センター中堅者研修	佐藤
1月30日～2月4日	舞台スタッフラボ 研修	嶋村 佐藤
2月27日	日本 NPO センター 非営利法人制度フォーラム	佐藤

5-3. 視察・見学対応

28年度の視察対応は、15件、64名と27年度比（19件、21名）では件数は減少したものの、人数は増加している。

視察の目的としては、昨年までの震災の復興事業に関わるものは少なくなり、被災地でのフェーズの変化についての情報収集が散見された。

視察者の属性別による目的をみると、学生は、研究室単位や個人による研究のためのフィールドワークの一環として、復興支援に関わる団体や、その団体が手掛けている支援事業内容についてのヒアリングを目的としての来館傾向は継続している。行政関係者は、いわゆる「協働」による支援体制の構築や、事業の進捗についての調査を目的としたものが多くみられた。

また、「協働そのもの」についての調査を目的とした視察は、自治体の議員や、行政関係者と市民活動団体との合同チームによる来館で、27年度に引き続き特徴としてあげられる。

さらに、施設の運営について、指定管理団体としての立場からの評価や、課題把握についてのヒアリングを目的とした視察もあった。

5-4. 防災避難訓練

消防法に基づき防災避難訓練を2回実施した。

○実施日：平成28年8月24日（水）

平成29年2月22日（水）

○参加者：サポートセンタースタッフ

28年度は、1回目に消防機材取扱い訓練及び初動対応訓練、2回目に防災ゲームを通じた状況判断訓練を行った。

1回目の消防機材取扱い訓練では、消火栓、消火器、火災警報装置、中央監視システム等の取扱い要領を訓練した。また、初動対応訓練では、大地震発生直後のスタッフの行動要領、特にシフトリーダーの指示命令によるチームワークを訓練した。

2回目の防災ゲームを通じた状況判断訓練では、災害時にサポートセンターで発生しうる各種状況について設問を設け、スタッフがとっさに判断した結果を意見交換した。多様な価値観があることを認識することができた。

5-5 施設の維持管理

（1）6Fセミナーホール点検口設置工事

○実施日：平成28年5月20日（金）

○工事内容

6Fセミナーホールの雨漏り原因を特定するために、排水経路を視認できる点検口を設置した。

(2) 1 F 停電対策工事

○実施日：平成 28 年 5 月 25 日（水）

○工事内容

28 年 3 月以降、1 F で原因不明の停電が発生していたが、東北電気保安協会が原因を特定し、原因と思われる外看板の通電を停止した。以降、再現性はない。

(3) 雨漏り対策のため、配水管の高圧洗浄

○実施日：平成 28 年 6 月 30 日（木）

○工事内容

以前から発生していた 6 F セミナーホール、5 F 交流サロンの雨漏りに関し、原因は特定できていないものの、配水管の高圧洗浄を行ったところ、それ以降の雨漏りは認められなくなった。

(4) 煙感知器設置工事

○実施日：平成 28 年 9 月 23 日（金）

○工事内容

5 F 交流サロンで雨漏りが発生した際に煙感知器が誤作動知したため撤去していたが、台風による大雨に際しても雨漏りがいないことを確認し、煙感知器を再設置した。

■平成28年度仙台市市民活動サポートセンター 年間行事

資料 1

実施事業				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
施設運営	事務用ブース					13日～ 募集	14日 期間		23日 情報交換会			9日 情報交換会				
	ロッカー、レターケース						7日～22日 募集期間	3日 抽選会		1日～ 料金改定						
情報収集提供業務	発展	1-1	市民活動や協働に関する情報の収集提供業務	協働C ぱれっと 200号記念		協働C 企業との まちづくり		協働C 協働事例 (西日本)	協働C 協働事例 (関東)		協働C マチノフ資料	協働C (東北)		協働C 協働事例 (神戸市)	協働C 協働事例 (地域経営)	
	発展	1-2	施設機関紙やWEB媒体での発信による 市民活動や協働の情報提供	機関紙 発行	機関紙 改訂	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	機関紙 発行	WEBは常時更新
	発展	1-3	仙台に情報の背骨を通すプロジェクトの新運用検討													チラシ配架システム
相談業務	継続	2	多様な相談に対する対応の実施						28日 ミニ講座 社会起業と 資金調達							相談コーナー
自立	市民活動者の育成	継続	3-1 市民活動を「知る、体験、学ぶ」機会づくり				31日ハジック WE転動族 のりっば		24日 まちあるき 定禅寺通り		3日ハジック 鶴岡ナリワイ KIKO カフラバン		28日 まちあるき 長町	12日ハジック 読み聞かせ ベガルタ Monstella		
		継続	3-2 市民メディアの担い手育成			23日、30日、 市民ライター	1日、7日、 14日 講座			7日 課外活動 キックオフ	3日 地域メディア 公開編集会議					
	市民活動力強化	継続	4-1 市民活動初心者の人材育成		28日 企画運営基礎 企画書作成		9日 企画運営基礎 広報			22日 企画運営基礎 運営事務局		10日 助成金基礎 見せ方アピール				
		継続	4-2 活動力強化講座					26日 マーケティング スクール開始	8日、9日 プラン検討	7日 発表会	4日 ソーシャル インパクト					
	市民活動団体の組織運営基盤	新規	5 伴走型相談による個別支援													
連携	市民活動団体のネットワーク化支援	新規	6 市民活動団体の交流機会の創出								3日～6日 マチノフ WEEK					
	多様な主体による協働の推進	新規	7 地域機関との連携		24日 5区まち課 情報交換会	25日～ まいふる ※12月まで				16日 太白区民 まつり出展	5日 地域活動団体 情報交換会	～10日 まいふる 最終発表会	20日 まちづくり 支援組織 拡大情報交換			その他、関連機関と継続的に情報 交換を実施
	多様な主体による 協働を推進するノウハウ抽出	継続	8 多様な主体による協働を推進するノウハウ共有								5日 マチノワラボ					
創発	市民活動等に関する 調査研究及び成果公表	新規	9 市民社会形成に必要な施策検討に向けた調査研究	6日、20日 MTG	16日、23日 MTG	21日ヒアリング 阿部教授、 CLC	6日、21日 MTG	1日～3日 神戸視察 26日 片平視察	14日 MTG	17日 MTG	16日 MTG	1日、16日 MTG	10日、31日 MTG	10日、23日 MTG	24日 MTG	その他、適宜MTG実施

■主な項目のサポートセンター利用状況推移(平成28年度)

資料 2

		貸室 件数	貸室 利用者数	利用率(各 部屋平均)	フリースペース 利用件数	フリースペース 利用者数	印刷機 利用件数	印刷機 利用枚数	情報揭示 受付件数	パソコン 利用件数	相談 件数	相談人数	レターケース 取扱件数	来訪者 件数	来訪者 人数	図書貸 出件数 ※	総利用 件数	利用者 総数
		a	a'		b	b'	c		d	e	f	f'	g	h	h'	i	A	B
平成11年度～ 23年度計		35,322	471,685	801	32,164	121,902	25,815	23,439,994	41,885	27,514	11,932	13,571	46,684	1,052	4,140	396	222,748	611,298
平成24年度計		3,229	46,416	80	4,720	13,481	1,876	1,529,372	3,921	1,457	716	822	2,819	25	97	155	18,918	60,816
平成25年度計		3,181	45,032	81	4,808	12,002	1,675	1,431,310	4,003	943	832	925	3,388	53	102	238	19,121	58,061
平成26年度計		3,249	49,033	84	5,510	13,705	1,595	1,258,520	4,149	1,194	937	1,014	3,326	45	152	242	20,247	63,904
平成27年度計		3,235	48,472	82	5,958	15,094	1,458	1,222,901	3,894	1,463	650	707	2,277	19	21	198	19,152	64,294
平成28 年度	4月	268	4,126	82	473	1,315	189	202,006	356	175	52	61	253	1	8	13	1,780	5,510
	5月	246	3,890	74	462	1,179	138	101,199	293	149	67	80	171	1	7	22	1,545	5,156
	6月	270	4,402	83	496	1,316	108	70,524	273	114	82	95	149	2	14	21	1,499	5,827
	7月	266	4,274	83	464	1,217	112	95,306	347	137	94	102	140	1	7	9	1,570	5,600
	8月	243	3,244	77	393	1,030	86	69,332	355	111	71	82	104	3	7	7	1,373	4,363
	9月	264	3,667	81	449	1,243	97	80,390	310	114	83	100	125	3	6	15	1,460	5,016
	10月	288	4,128	87	481	1,313	106	94,804	400	106	53	68	182	1	4	12	1,629	5,513
	11月	298	5,097	90	465	1,838	88	62,998	361	80	54	56	114	3	7	6	1,469	6,998
	12月	263	4,383	88	381	982	63	50,281	276	80	60	73	129	1	5	5	1,257	5,443
	1月	248	3,706	82	390	1,011	73	65,930	326	80	60	74	301	1	1	11	1,490	4,792
	2月	279	4,799	90	457	1,214	67	63,408	275	88	100	109	146	1	1	8	1,424	6,123
	3月	274	4,376	83	511	1,307	98	82,120	321	104	85	93	154	0	0	13	1,561	5,776
平成28年度計		3,207	50,092	83	5,422	14,965	1,225	1,038,298	3,893	1,338	861	993	1,968	18	67	142	18,057	66,117
前年度比		99%	103%	102%	91%	99%	84%	85%	100%	91%	132%	140%	86%	95%	319%	72%	94%	103%
前年度差		-28	1,620	2	-536	-129	-233	-184,603	-1	-125	211	286	-309	-1	46	-56	-1,095	1,823
平成24年度～ 28年度計		51,423	710,730	1,210	58,582	191,149	33,644	29,920,395	61,745	33,909	15,928	18,032	60,462	1,212	4,579	1,371	318,243	924,490
平成11年度～ 28年度計		86,745	1,182,415	2,011	90,746	313,051	59,459	53,360,389	103,630	61,423	27,860	31,603	107,146	2,264	8,719	1,767	540,991	1,535,788
		a	a'		b	b'	c		d	e	f	f'	g	h	h'	i	A	B

$$A=a+b+c+d+e+f+g+h+i$$

$$B=a'+b'+f'+h'$$

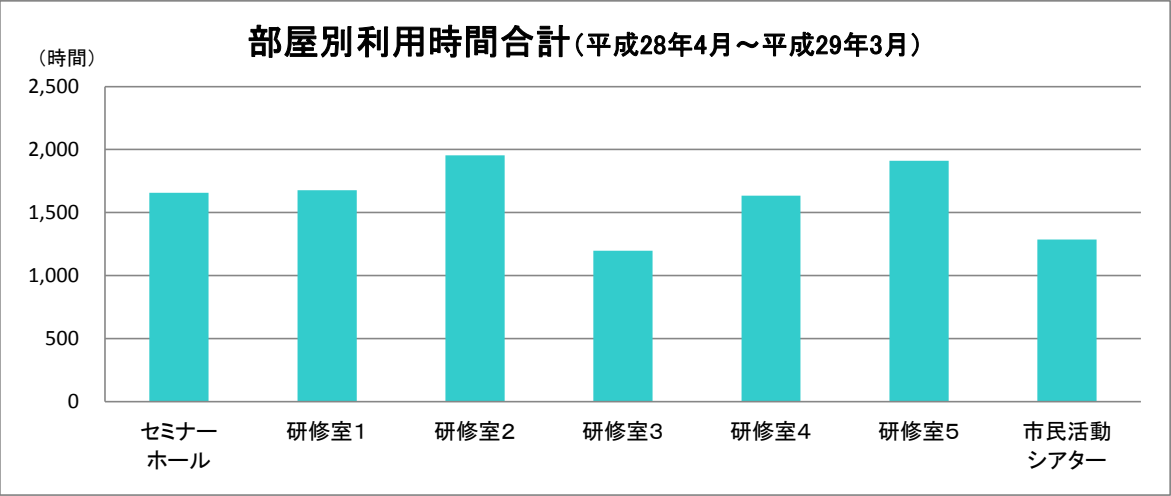
■情報関連業務利用状況推移(平成24年度～28年度)

資料 3

		印刷機		コピー機	パソコン		情報揭示							図書資料		
		利用件数	枚数	利用枚数	作業用	使用時間	チラシ	団体チラシ	骨プロ	チラシ計	ポスター	ニューズレター	受付合計	登録者数	貸出件数	貸出冊数
		件	枚	枚	件	時間	件		件	件	件	件	件	人	件	冊
平成24年度		1,876	1,445,588	17,782	712	—	2,292	—	861	3,153	296	1,333	3,921	57	155	243
平成25年度		1,675	1,256,828	17,841	562	—	1,462	—	895	2,357	270	1,376	3,108	54	239	365
平成26年度		1,595	1,258,520	16,431	858	—	1,675	—	839	2,514	295	1,340	4,149	77	239	350
平成27年度		1,458	1,222,901	14,673	1,463	—	1,540		796	2,336	271	1,287	3,894	54	210	307
平成28年度	4月	189	202,006	1,659	175	154	124	20	74	218	15	123	356	0	13	20
	5月	138	101,199	1,235	149	140	103	2	84	189	19	85	293	2	22	31
	6月	108	70,524	1,572	114	95	109	9	55	173	17	83	273	2	21	32
	7月	112	95,306	1,614	137	135	120	6	72	198	22	127	347	0	9	12
	8月	86	69,332	1,476	111	120	128	18	71	217	34	104	355	1	7	10
	9月	97	80,390	1,343	114	113	110	8	73	191	21	98	310	3	15	25
	10月	106	94,804	1,053	106	96	152	4	91	247	43	110	400	3	12	21
	11月	88	62,998	1,161	80	72	127	16	65	208	21	132	361	4	6	11
	12月	63	50,281	749	80	82	111	9	47	167	15	94	276	0	5	7
	1月	73	65,930	851	80	89	132	5	60	197	9	120	326	1	11	18
	2月	67	63,408	940	88	86	118	7	55	180	16	79	275	1	8	12
	3月	98	82,120	1,067	104	108	97	17	70	184	17	120	321	1	13	22
平成28年度計		1,225	1,038,298	14,720	1,338	1,287	1,431	121	817	2,369	249	1,275	3,893	18	142	221
前年度比		84.0%	84.9%	100.3%	91.5%	—	100.8%		102.6%	101.4%	91.9%	99.1%	100.0%	33.3%	67.6%	72.0%

使用団体名	H28(2016)								H29(2017)								H30(2018)								備考								
	17期								18期								19期																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3	4	5	6	7	8
NPO法人生活習慣改善センター																																	2012.7.31退出(使用期間満了)
元気Do塾																																	2012.1.31退出(使用期間満了)
NPO法人仙台交流分析協会																																	2013.1.31退出(法人解散・全国組織と合併)
NPO法人POSSE仙台支部																																	2012.8.31退出(事務所独立)
広瀬川市民会議																																	2012.4.30退出(事務所独立)
宮城県学童保育緊急支援プロジェクト																																	2012.3.31退出(事務所独立)
せんだい舞台芸術復興支援センター																																	2014.6.30退出(使用期間満了)
NPO法人仙台グリーンケア研究会																																	2014.8.31退出(NPOブラザへ)
認定NPO法人IVY (仙台ふるさと文化財の森を創る会)																																	
一般社団法人 日本漆総合研究所																																	
みやぎ子ども教育支援ネットワーク協議会																																	2013.3.31退出(使用期間満了)
仙台傾聴の会																																	2013.11.30退出(NPOブラザへ)
わしん倶楽部																																	
公益社団法人 日本てんかん協会宮城県支部	29	30	31	32	33	34	35	36																									
公益社団法人 世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会	29	30	31																														2016年3月にて退去
NPO法人 みやぎ生涯学習指導・支援センター	29	30	31	32	33	34	35	36																									
NPO法人 仙台・みやぎ消費者支援ネット	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36																				
日本勤労者山岳連盟宮城県連盟朋友会	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36													
子ども虐待予防センター仙台																																	2017年1月退出(使用期間満了)
明るい社会づくり運動仙台地区推進協議会	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	2015年8月にて福祉ブラザへ転出

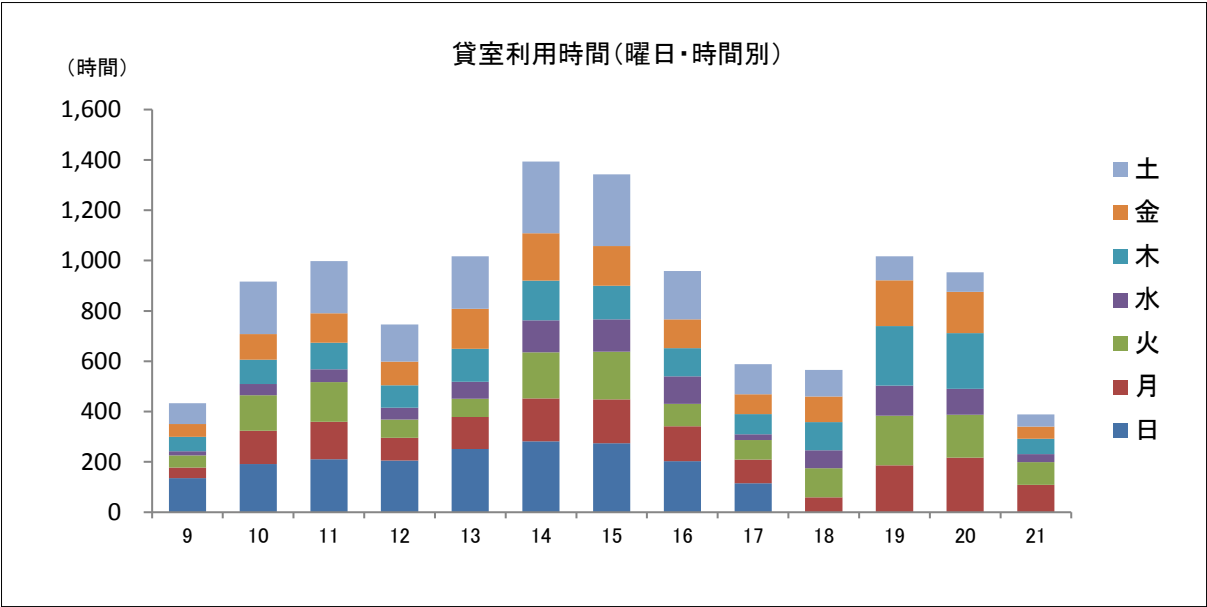
		セミナー ホール		研修室1		研修室2		研修室3		研修室4		研修室5		市民活動 シアター		合計時間
4月	時間	154		148		151		112		129		148		74		916
開館日	28 日数	23 82%		27 96%		27 96%		25 89%		26 93%		25 89%		8 29%		161 82%
5月	時間	120		121		154		101		121		152		75		844
開館日	29 日数	19 66%		23 79%		26 90%		23 79%		26 90%		24 83%		9 31%		150 74%
6月	時間	150		136		164		84		123		175		75		907
開館日	28 日数	21 75%		27 96%		28 100%		22 79%		28 100%		28 100%		9 32%		163 83%
7月	時間	163		134		174		94		131		173		113		982
開館日	29 日数	25 86%		27 93%		27 93%		22 76%		27 93%		28 97%		13 45%		169 83%
8月	時間	115		134		156		78		97		146		80		806
開館日	29 日数	24 83%		27 93%		25 86%		23 79%		24 83%		24 83%		9 31%		156 77%
9月	時間	103		154		162		96		129		149		71		864
開館日	28 日数	21 75%		26 93%		28 100%		22 79%		27 96%		26 93%		8 29%		158 81%
10月	時間	147		155		191		100		161		145		91		990
開館日	29 日数	24 83%		29 100%		29 100%		27 93%		28 97%		28 97%		12 41%		177 87%
11月	時間	178		158		194		146		173		206		139		1194
開館日	28 日数	25 89%		26 93%		28 100%		27 96%		27 96%		28 100%		15 54%		176 90%
12月	時間	127		135		145		112		145		150		223		1037
開館日	26 日数	21 81%		24 92%		25 96%		23 88%		24 92%		23 88%		21 81%		161 88%
1月	時間	148		129		132		83		158		146		117		913
開館日	26 日数	21 81%		25 96%		23 88%		22 85%		25 96%		20 77%		13 50%		149 82%
2月	時間	142		139		162		93		133		156		128		953
開館日	26 日数	23 88%		26 100%		26 100%		23 88%		26 100%		25 96%		14 54%		163 90%
3月	時間	111		134		169		99		135		166		100		914
開館日	29 日数	22 76%		27 93%		29 100%		24 83%		27 93%		28 97%		11 38%		168 83%
合計	時間	1658		1677		1954		1198		1635		1912		1286		11320
開館日	335 日数	269 80%		314 94%		321 96%		283 84%		315 94%		307 92%		142 42%		1951 83%
前年度合計	日数	265 79%		313 93%		326 97%		306 91%		317 94%		293 87%		98 29%		1918 82%



■貸室利用時間(曜日・時間別集計)

資料 6

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	計
日	135	192	211	205	251	282	274	203	115	0	0	0	0	1,868
月	43	132	148	91	128	170	174	138	94	59	187	217	109	1,690
火	48	141	158	72	72	184	190	89	78	116	196	170	90	1,604
水	17	45	51	47	68	127	128	110	23	71	120	104	32	943
木	56	96	106	90	131	157	134	112	80	112	237	221	61	1,593
金	51	102	116	94	159	188	158	115	79	102	181	164	48	1,557
土	83	209	208	147	208	285	285	192	119	106	96	78	49	2,065
計	433	917	998	746	1,017	1,393	1,343	959	588	566	1,017	954	389	11,320

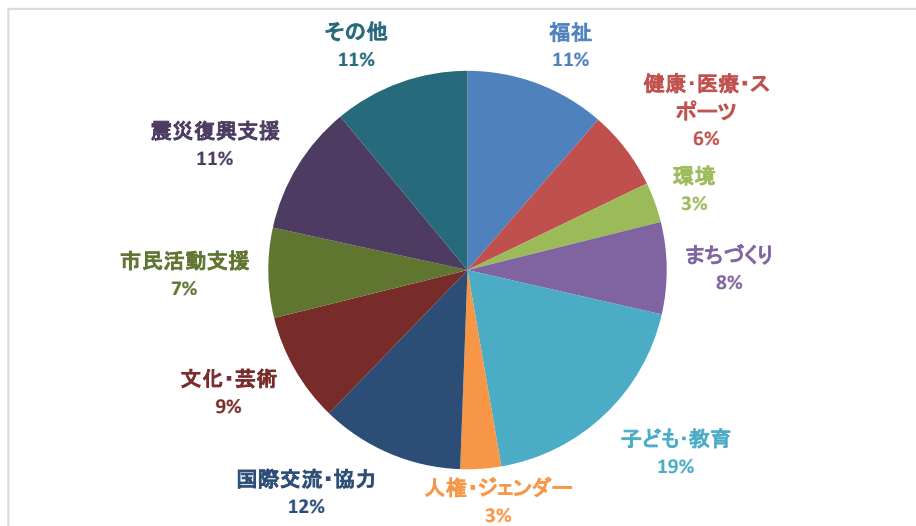


■利用団体分野別集計

資料 7

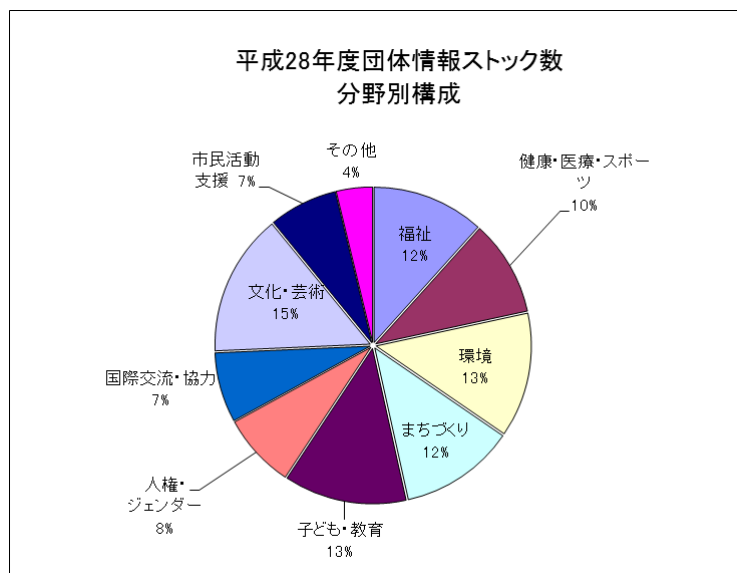
※提出された利用票の活動分野に関する回答(複数可)を集計

分野	来館利用		主な活動内容
	利用票	構成比	
福祉	1,000	11%	障害者、高齢者、福祉一般
健康・医療・スポーツ	567	6%	医療・保健・健康、スポーツの振興
環境	287	3%	食・農業、環境・エコロジー
まちづくり	655	7%	地域・まちづくり、交通などの安全対策、災害などの救援活動
子ども・教育	1,643	19%	子ども、青少年、教育・学習支援、社会教育
人権・ジェンダー	290	3%	ジェンダー、男女共同参画、人権、平和
国際交流・協力	1,022	12%	在日外国人、留学生支援、国際貢献・協力、国際交流
文化・芸術	782	9%	文化・芸術の振興
市民活動支援	640	7%	ミニコミ・出版、市民事業、市民活動団体の支援、助成活動
震災復興支援	928	11%	
その他	967	11%	政策提言、労働問題、コミュニティ・ビジネス、消費者保護、情報化社会等
合計	8,781	100%	



分野	情報利用 *1				
	団体数	構成比	県内	県外	
福祉	546	12%	464	82	障害者、高齢者、福祉一般
健康・医療・スポーツ	465	10%	389	76	医療・保健・健康、スポーツの振興
環境	606	13%	419	187	食・農業、環境・エコロジー
まちづくり	560	12%	491	69	地域・まちづくり、交通などの安全対策、災害などの救援活動
子ども・教育	597	13%	477	120	子ども、青少年、教育・学習支援、社会教育
人権・ジェンダー	363	8%	257	106	ジェンダー、男女共同参画、人権、平和
国際交流・協力	340	7%	211	129	在日外国人、留学生支援、国際貢献・協力、国際交流
文化・芸術	691	15%	603	88	文化・芸術の振興
市民活動支援	334	7%	102	232	市民事業、市民活動団体の支援、助成活動
その他	177	4%	141	36	政策提言、労働問題、コミュニティ・ビジネス、消費者保護、情報化社会等
計	4,679	100%	3,554	1,125	
H27年度累計蓄積数	4,652		3,539	1,113	
前年度比	101%		100%	101%	* 県内の団体情報も、チラシやニュースレターを受け付けた団体、サポートセンターの利用団体のみの情報とした。

*1 情報利用: 団体情報の蓄積数

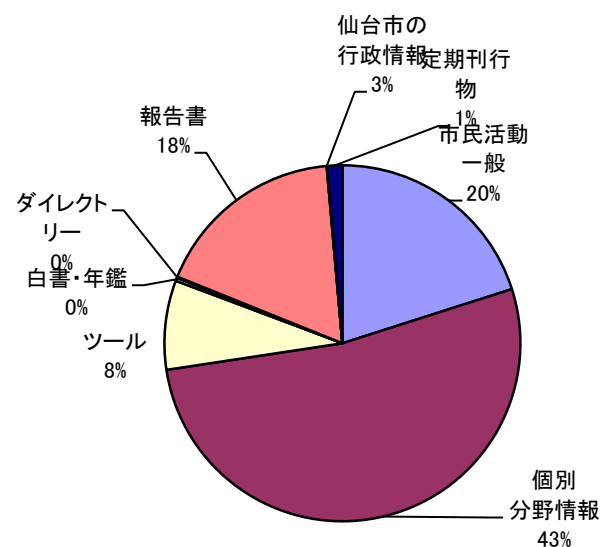


■図書資料分類別冊数

資料 9

分類	分類名	種類	冊数
A-1	市民活動・NPO全般	125	125
A-2	NPO法・条例	4	4
A-3	会計・マネジメント	64	64
A-4	財団・協同組合	6	6
A-5	ボランティア	24	24
A-6	企業とNPO・フィランソロピー	60	60
A-7	行政とNPO・政策提言	58	58
A-8	NPO法・条例の経済分析	16	16
B	ジェンダー・人権	117	117
C	福祉・医療	98	98
D	高齢者	95	95
E	まちづくり	298	298
F	子ども・社会教育	102	102
G	文化・芸術	77	77
H	環境	99	99
J	インターネット・ネットワーキング	8	8
K	国際協力・NGO	48	48
L	ハウツー	101	101
M	年鑑	0	0
N	辞書	28	28
O	地図	7	7
P	白書	5	5
Q	ダイレクトリー	2	2
R	報告書	311	311
T	仙台市の行政情報	0	0
V	ビデオソフト	1	1
X	定期刊行物・雑誌バックナンバー	24	111
合 計		1,778	1,865

大分類	種類	内訳
市民活動一般	357	A-1,2,3,4,5,6,7,8
個別分野情報	934	B,C,D,E,F,G,H,K,
ツール	144	J,L,N,O
白書・年鑑	5	M,P
ダイレクトリー	2	Q
報告書	311	R
仙台市の行政情報	0	T
ビデオソフト	1	V
定期刊行物	24	X
合計	1,778	



大分類別冊数

個別分野情報



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

- ジェンダー・人権
- 福祉・医療
- 高齢者
- まちづくり
- 子ども・社会教育
- 文化・芸術
- 環境
- インターネット・ネットワーキング
- 国際協力・NGO

■サポートセンターホームページ アクセス件数集計表

資料 10

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ユニークユーザ ※1	件	2,547	2,750	2,822	2,715	2,512	2,736	3,778	3,184	2,277	2,714	2,737	2,300	33,072
ページビュー ※2	件	10,758	10,896	11,343	11,062	10,624	13,365	18,204	14,633	9,504	11,814	10,992	9,537	142,732

※1…パソコン1台を1件としたアクセス数。一日のうちであれば、同じパソコンから何度アクセスがあっても1件とする。

※2…HP内にあるサイトの総閲覧数

■ページランキング（ページビューの多いページの上位5位まで。右側の数字はページビュー）

	4月		5月		6月	
1位	トップページ	3,494	トップページ	3,415	トップページ	3,528
2位	アクセス(地図)	864	アクセス(地図)	914	アクセス(地図)	969
3位	イベント・講座	646	貸室(地上階)	749	貸室(地上階)	718
4位	貸室(地上階)	633	イベント・講座	684	イベント・講座	685
5位	貸室(総合)	564	貸室(総合)	528	サポセンを使う	565

	7月		8月		9月	
1位	トップページ	3,533	トップページ	3,231	トップページ	4,567
2位	アクセス(地図)	961	アクセス(地図)	865	アクセス(地図)	1,002
3位	イベント・講座	765	イベント・講座	636	貸室(地上階)	781
4位	貸室(地上階)	636	貸室(地上階)	633	イベント・講座	761
5位	貸室(総合)	479	貸室(総合)	537	貸室(総合)	600

	10月		11月		12月	
1位	トップページ	4,081	トップページ	3,661	トップページ	2,631
2位	マチノワWEEK	2,526	アクセス(地図)	1,106	アクセス(地図)	855
3位	イベント・講座	1,093	マチノワWEEK	1,014	貸室(地上階)	636
4位	アクセス(地図)	1,051	貸室(地上階)	893	貸室(総合)	555
5位	貸室(地上階)	780	イベント・講座	849	イベント・講座	534

	1月		2月		3月	
1位	トップページ	3,155	トップページ	3,153	トップページ	2,552
2位	アクセス(地図)	1,181	アクセス(地図)	1,072	アクセス(地図)	825
3位	貸室(地上階)	904	貸室(地上階)	798	貸室(地上階)	713
4位	イベント・講座	827	イベント・講座	668	貸室(総合)	677
5位	貸室(総合)	687	貸室(総合)	607	イベント・講座	614

NO	号	表紙 今月のワクワクビト	2～3ページ 特集:協働のまちづくり	2ページ お役立ち本	2ページ コトハジメ	3ページ 団体紹介	3ページ ここチェック	4ページ インフォメーション	配布状況				
									全国のサポ ートセンター	行政窓口	その他	サポ ート センター館内	計
200	4月	WE SENDAI転動族チーム 大山宗之さん	障がい者の「働く」を支える希望の灯 - 複合機清掃作業員認定教育事業-	初歩的な疑問から応える「NPOの教科書」	もったいない市 環境に優しいフリーマーケット「リユースマーケット」に参加しよう！	みやぎ民話の会 「今と昔を語り継ぐ」	複合機清掃の実習訓練に協力～東北文化学園大学～	・サポセンってどんなところ？ ・祝・ぱれっと200号！	274	1,435	521	335	2,565
201	5月	新田mama＊cafe 眞野美加さん	父親のチカラで子どもとまちが楽しくなる-富沢・長町地区おやじの会地域ネットワーク推進委員会-	かかわり方のまなび方	エコのタネを探しに移行！せんだい環境学習館「たまきさんサロン」オープン	NPO法人子どもグリーンフサポートステーション「支え合いでつながる優しさのりレー」	働き方を変えれば企業も社会も、もっと豊かになる！NPO法人ファザーリングジャパン東北 設立記念フォーラム	・初めての市民活動を応援します「はじめてのミニイベント」 ・仙台市市民協働事業提案制度募集説明会を開催します(仙台市から) ・市民ライターと学生記者に注目！	271	1,414	521	688	2,894
202	6月	PEN SRACE KIKO主宰 勝水与茶(あずさ)さん	地域の魅力を発信！おらほのまちへ来て下さいー秋保地域資源活用委員会-	助けてと言えない 孤立する三十代	地域で自分の力を活かすチャンス！「夏ボラ」	一般社団法人アート・インクルージョン 「みんなの心を健やかにするアート」	豊かな歴史・文化・逸話などをまとめた地域史「太白区まち物語」	・市民ライター講座2016～主事あ・執筆体験で磨く情報発信力～ ・初めての市民活動を応援します「はじめてのミニイベント」 ・まちのわライブラリーで全国のまちづくりを見てみよう！	273	1,435	521	149	2,378
203	7月	THE EAST TIMES編集長 安藤歩美さん	路地で育む、自分達の仙台セタ	手に取るように環境問題がわかる本	子どもたちのよき相談相手に 学習ボランティアをしてみませんか！NPO法人アスイク	冒険図書館プロジェクト「小さな図書館から生まれる無限の世界」	そのむかし仕掛けモノは、仙台セタの楽しみのひとつだった～セタの仕掛けモノをつくらうプロジェクト2016～	・新着図書が届きました ・「ハジマルフクラムプロジェクト」もうすぐはじまります！ ・仙台市市民活動サポーター ロッカーレターケース使用者募集	273	1,435	521	570	2,799
204	8月	仙台三越baby Gap店長 猪口良太さん	ラジオを通して広がるネットワーク 若林区民が造る「ラヂオはいらいん若林」	「ありのままの自分」で働ける環境を目指して つ職場のLGBT読本	工芸品と人の出会いをお手伝い！「杜の都のクラフトフェア2016」	NPO法人エーキューブ「人と犬との健全な関係を築くには」	太白区「みんなの街の放送局」地域に密着した番組づくり	・活動力強化講座「社会を変えるアクションプラン・スクール」全4回連続 ・18人の市民ライター誕生！市民活動の現場へ突撃取材	273	1,440	541	174	2,428
205	9月	薬害被害者支援サークルballoons+（バルーンズ・トス）広報担当 小野夏琳さん	クロスロードで、防災・減災を楽しむ学ぶTeam Sendai 仙台クロスロード研究会	社会をちょっとかえてみた ふつうの人が政治を動かした七つの物語	第15回仙台ゴスペル・フェスティバルを盛り上げよう！	仙台に夜間中学をつくり育てる会「学ぶことが、人生を豊かにする」	宮城野区で防災・減災を考える「いわきり防災エンパワーメント」の「いわきり防災かるた」	・初めての市民活動を応援します「はじめてのミニイベント」 ・仙台ちよっとまち歩き 市民活動の現場を巡る～聞く・見る・気づくのまち歩き市民活動おじゃまします！～ ・社会の課題解決や地域を元気にするアイデアに出会える4日間	272	1,437	541	497	2,747
206	10月	SENDAI COFFEE STAND 本郷絃一さん	食が結ぶ、地域のおいしい関係 SENDAI EAST KITCHEN	いちばん未来のアイデアブック フツウの高齢者のみなさんが考えました	親と子、地域の人々の絆を深める「食育」の場づくり 宮城野子育て料理プロジェクト	仙台市鶴巻児童館子ども劇団わんにゃんぶう「できるかな」の付き合い方	仕事帰りに立ち寄れる〃大人の食育講座〃「仙台農塾」	・マチノフWEEK まちづくりのアイデア広場「触れる」「交わる」「考える」 ・使用料改訂のお知らせ(仙台市から)	272	1,448	541	441	2,702
207	11月	Imamoi アートディレクター/グラフィックデザイナー 佐藤志保さん	ショッピングセンターで絵本を交換 世代を超えてつながる地域の輪	みんなでつくる総合計画-高知県佐川町流ソーシャルデザイン-	仙台89ERSボランティア バスケットボールチームを支える活動 スポーツボランティア	仙台短篇映画祭実行委員会 「映画監督の思いに触れる映画祭」	誰でも先生、誰でも生徒。市民がたがいに学び合う場「タビオ館立オープン大学」	・初めての市民活動を応援します「はじめての助成金申請」 ・まちのわライブラリー「全国のまちづくり見本市」 ・マチノフWEEK まちづくりのアイデア広場「触れる」「交わる」「考える」	292	1,448	551	600	2,891
208	12月	海辺の図書館 庄子隆弘さん	仙台のまちで生きるトウホクサンショウウオ 知ることが、守ることにつながっていく	CSV時代イノベーション戦略	サンタになって、子ども達に夢と未来を届けよう。NPO法人チャリティーサンタ 仙台支部	公益社団法人日本駆け込み寺仙台支部「「街」と「人」を見守る、街頭パトロール」	高校生が地域の情報を発信します！まいぶろかべしんぶん部	・ご来場ありがとうございました。(WEK報告) ・年末年始休館期間の貸室申込みについて ・仙台ちよっとまち歩き 市民活動の現場を巡る～聞く・見る・気づくのまち歩き市民活動おじゃまします！～	292	1,448	571	410	2,721
209	1月	大人のための絵本のよみきかせやさん 菅原香さん	NPOと行政が手を取り、一度つまずいても立ち直ることができる社会を目指す	現役ママ10名による横から目線の育児本 2歳児サバイバルライフ	地域ぐるみの除雪にご協力を！仙台雪道おたすけ隊～参加団体募集～	労働者サークルWorkKafe 「仕事の悩みを分かち合える、サークル仲間」	家で眠っている食べ物を、必要としている人に届けよう「ふうどばんく東北 AGAIN」	・“わたくしごと”に潜む、社会を動かすチカラ～ハジマルフクラムプロジェクト～ ・仙台ちよっとまち歩き 市民活動の現場を巡る～聞く・見る・気づくのまち歩き市民活動おじゃまします！～	275	1,448	591	519	2,833
210	2月	在仙ベトナム学生青年協会 (VYSAinSendai) 会長 Pham Thi Thanh Tuさん	多世代の居場所づくり「おりぎの食卓」がプレオープン	格差の世界地図	(公社)仙台青年会議所 3.11追悼、感謝の気持ちを持ち寄る「キャンドルナイト」のお手伝い	Table For Tow Miyagi University 「あなたも世界も健康になる食事を」	紙芝居を通じた世代間交流「仙台長町紙芝居フェスティバル」	・若者の「地域のためになにかしたい！」を応援します。(まいぶろしレポート) ・協働によるまちづくりを推進するための新たな助成金制度の構築に向けたモデル事業を募集します。(仙台市から)	275	1,448	601	382	2,706
211	3月	クライミングサークルMagic Wall 大槻智志さん	学校と町内会の関係プレーで取り組む共助のまちづくり	せんだいノート ミュージアムって何だろう？	NPO法人おもいでかえる 「大切な思い出が、持ち主のもとへ帰るためのお手伝い」	Re-Design For Men 「男性の生き方の多様性を考える」	仙台防災未来フォーラム2017-経験を伝える・共有する・継承する-	・地域でまちづくり活動に取り組む人たちを応援します。(カフェたしいはくレポート) ・まちのわライブラリー「住民発！多様な力で取り組むまちづくり」	275	1,448	601	557	2,881
計									3,317	17,284	6,622	5,322	32,545

相談・問合せ対応記録集計表

2016年4月1日 ～ 2017年3月31日

		窓口	相談	その他	事業	計
属性	市民活動(非営利団体)	325	259	14	195	793
	町内会(地縁組組織)	1	13		2	16
	企業(営利組織)	19	34	2	6	61
	大学(教育機関)	7	5	1	6	19
	行政・外郭	6	16		14	36
	その他	54	98	7	33	192
件数計		412	425	24	256	1,117
		窓口	相談	その他	事業	計
対応内容	自立	248	275	6	237	766
	連携	5	39	2		46
	創発	1	13			14
	情報	51	77	7	5	140
	その他	107	21	9	14	151
件数計		412	425	24	256	1,117
人数計		443	508	42	257	1,250

相談集計結果【主訴一相談主体】

集計期間：2016年4月1日 ～ 2017年3月31日

	主体	市民活動団体(非営利団体)				町内会 (地縁組織)		企業(営利組織)			大学(教育機関)			行政			その他		計	伴走	
	主訴	任意 団体	NPO 法人	一般 社団	その他 法人	町内会	その他	地元 企業	市外 企業	個人 事業主	大学 短大	小学校 ～高校	その他	仙台市	仙台市 以外	外郭	市民	その他		新規 候補	継続
自立	課題解決に取り組もうとする段階の相談	52	9	2	1			3		7				2			50		126	2	4
		64						10					2	50							
	課題発見・企画立案・事業遂行に関する 相談	24	12	1	1		6	3						1		1	2		51		2
		38					6	3					2	2							
	組織運営基盤(事務局運営・税務・労務・ 会計・資金・人材・労務等)に関する相談	45	46	2			2										2	1		98	14
93					2							2	1								
連携	市民活動団体間のネットワークの相談	5	3																8	1	
		8																			
	多様な主体による協働の相談	9	6			1		3	3	1				3	1				27		1
		15					1	7					4								
	協働のノウハウ・事例に関する相談	2				1				1										4	
2					1	1															
創発	市民活動・協働に関する制度等の相談	3	6								1						1		11		
		9									1	1									
	政策提言	1				1													2		
		1				1															
情報	情報収集・情報提供	11	8	1	4	2		5	6	1	1	2		3	1		32		77		1
		24				2		12			3			4		32					
その他	当事者・受益者からの相談	2						1									9		12		
		2						1						9							
	研究・視察対応			1								1				1			3		
		1						1			1										
	上記のいずれにも当てはまらないもの	2																4		6	1
2												4									
計		156	90	7	6	5	8	15	10	9	2	3		9	2	5	98		425	18	12
		259				13		34			5			16		98					

相談集計結果【内容－相談者】(複数選択あり)

集計期間：2016年4月1日 ～ 2017年3月31日

	相談者	市民活動団体(非営利団体)				町内会 (地縁組織)		企業(営利組織)			大学(教育機関)			行政			その他		計	伴走	
	相談内容	任意 団体	NPO 法人	一般 社団	その他 法人	町内会	その他	地元 企業	市外 企業	個人 事業主	大学 短大	小学校 ～高校	その他	仙台市	仙台市 以外	外郭	市民	その他		新規 候補	継続
自立	課題解決に取り組もうとする段階の相談	60	12	2	1	1	2	7	1	8		1		3			58		156	2	6
		75				3		16			1			3			58				
	課題発見・企画立案・事業遂行に関する相談	40	15	2	2		6	4	1					2		1	10		83		2
		59				6		5						3			10				
	組織運営基盤(事務局運営・税務・労務・会計・資金・人材・労務等)に関する相談	58	51	3			5	2	1	1						2	7		130	14	5
		112				5		4						2			7				
連携	市民活動団体間のネットワークの相談	21	11		1	1	4		1	1				1	1	1	1		44	1	2
		33				5		2						3			1				
	多様な主体による協働の相談	23	23	1	1	3	3	3	5	1	1			3	2		1		70		3
		48				6		9			1			5			1				
		協働のノウハウ・事例に関する相談	12	8			2	1	1	2		1				1		1		29	
20				3		3			1			1			1						
創発	市民活動・協働に関する制度等の相談	9	12		1	1	2	1		1	1				1	1	1		31		
		22				3		2			1			2			1				
	政策提言	4	2			1			1									1	9		
6				1		1						1			1						
情報	情報収集・情報提供	36	31	5	5	3	4	8	9	5	2	3		4	2	3	64	1	185	1	4
		77				7		22			5			9			65				
その他	当事者・受益者からの相談	4	2					1									11		18		
		6						1						11							
	研究・視察対応	1	1	1	1				1		1	1				1		1	9		
		4						1			2			1			1				
		上記のいずれにも当てはまらないもの	2	1		1				1								4		9	1
4						1						4			4						
計		270	169	14	13	12	27	27	23	17	6	5		13	7	9	157	4	773	19	23
		466				39		67			11			29			161				

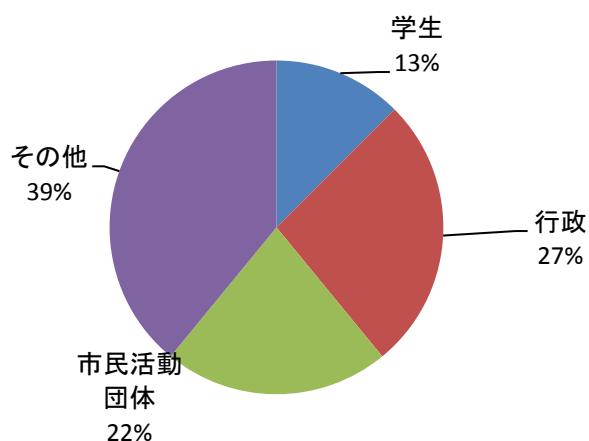
総件数：15 件 総人数：64 名

	対応日	属性	団体名	人数
1	4月8日	学生	東北工業大学	8
2	5月30日	その他(学校行事)	小樽市立汐見台中学校生徒6名・教諭1名	7
3	6月7日	行政	仙台市協働のまちづくり推進委員会	13
4	6月28日	その他	仙台市ボランティアセンター	1
5	7月26日	その他(議員)	金沢市市議会議員	7
6	8月3日	市民活動団体	大好きいばらき県民会議	1
7	8月3日	市民活動団体	にこ&ネット	1
8	8月12日	市民活動団体	みやぎ連携復興センター	5
9	9月10日	その他(企業)	株式会社 明和	1
10	9月14日	その他(企業)	関東建設工業 株式会社	4
11	9月23日	市民活動団体	東根市市民活動サポートセンター	1
12	10月4日	行政	岩沼市さわやか市政推進課	4
13	11月13日	その他(議員)	いわき市市議会議員	5
14	12月5日	市民活動団体	仙台観光国際協会	5
15	2月27日	市民活動団体	大船渡市民活動センター	1
				64

来館者内訳(人)

学生	8
行政	17
市民活動団体	14
その他	25
合計	64

視察・見学団体の属性



センター長 1名	副センター長 2名	ネットワーク構築／事業調整／仙台市対応／本部との調整	施設運営部門 施設サービス全般	コンシェルジュチーム	利用者お問合せ対応／貸室／シアター／事務用ブース／ロッカー／レターケース／フリースペース／印刷機／利用者PC	(1)施設管理業務 ①施設及び設備の使用許可もしくは不許可又は使用許可の取消 ④セミナーホール、研修室、市民活動シアター等の申込受付、貸出等管理 ⑥事務用ブースの管理 ⑦ロッカーの申込受付、抽選、貸出等管理 ⑧レターケースの申込受付、貸出等管理 (6)その他業務 ③利用者等へのアンケートの実施及び事業評価 ④利用者等の要望や苦情への対応 ⑧施設の管理運営全般のマニュアル作成
				徴収管理チーム	使用料徴収業務の管理・確認	(1)施設管理業務 ②施設及び設備の使用料徴収業務
				運営サポートチーム	施設運営部門及び事業運営部門の業務補助	
				システム管理チーム	相談データベースの管理運用業務／受付システムの管理運用業務／利用者PC及びスタッフPCの管理業務	(1)施設管理業務 ⑩施設利用者用パソコン、ネットワーク機器等の管理保守及び操作指導
				使用料出納チーム	使用料徴収業務の出納に関わる実務担当(朝会計／月締め)	(1)施設管理業務 ②施設及び設備の使用料徴収業務
				シアターチーム	利用者対応／設備維持管理／シアター活性化事業	(1)施設管理業務 ⑤市民活動シアターの使用に係る利用者との事前協議、機器操作指導等
			事業運営部門 事業の管理運営	調査・相談チーム	相談業務(外部及び内部人材コーディネート)／団体情報活用(NPO法人／利用団体)／お役立ち情報	(3)相談業務 (4)企画事業の実施:①市民活動の促進と自立に向けた支援 (5)調査研究及び提案
				情報企画チーム	広報戦略／ぱれっと発行／WEB管理(HP,BLOG,twitter)	(2)情報収集提供業務
					貸出図書管理／チラシ・ポスター／NL／骨プロリスト管理／団体情報	
				総務チーム	施設設備の安全管理／防災関連業務／労務管理／指定管理料に関わる出納業務／庶務業務、等	(1)施設管理業務 ③施設利用者用印刷機及びコピー機の管理保守、操作指導及び費用徴収業務 ⑨裁断機、紙折機等の管理保守及び操作指導 ⑪建物の本市が原形変更した部分の修繕及び小修繕 ⑫設備の軽微な維持修繕、消耗品の交換等 ⑬貸付物品の修繕、保守及び貸出等管理 ⑭建物所有者が実施する施設及び設備維持管理業務に係る連絡調整 (6)その他事業 ①事業報告等の提出 ②従事者に対し、運営管理に当たり必要な研修を計画し実施すること。 ⑤防火管理者の業務 ⑥災害ボランティアセンター設置時における施設利用及び施設管理等に関する業務 ⑦緊急時連絡体制の整備、防犯・防災・危機対応マニュアルの作成及び職員指導 ⑨引継ぎ業務 ⑩その他管理運営業務に付随する一切の業務

個別事業報告書

事業名称	市民活動や協働に関する情報の収集提供業務【発展】	
業務仕様	情報収集提供業務 ① 市民活動，協働等に関する情報の収集及び提供 ② 市民活動，協働等に関する図書資料の収集，管理及び貸出 ③ 市民活動団体等のチラシ，ポスター等の受付及び掲示 ④ その他の情報収集提供業務全般	
事業目的	多様な主体の協働によるまちづくりに必要な情報を、より多くの市民に届け、市民活動や協働によるまちづくりへの興味関心を高める。	
事業効果	市民活動や協働によるまちづくりに関する情報流通が活発になり、市民がそうした情報に触れる機会が増える。	
成果	成果目標	市民が団体情報や活動に有益な情報に触れる機会を増やす。
	実施目標	・ 情報受付：情報掲示受付件数 4,200 件 ・ 図書貸出件数：275 件
	・ 情報利用者数：10,133 名（参考値） ・ 情報受付総件数：3,893 件 ・ 図書貸出件数：142 件 ・ 収集した情報を保存管理するだけでなく、利用者の関心を誘発するよう提供の仕方を工夫。明確な目的を持たない来館者にもサポートセンターに多様な情報があることを伝えることができた。 ・ 1 階情報サロンの導線の見直し、情報提供場所・方法の工夫や、及びサインデザインの統一をした。情報の検索性も向上し、利用者が求める情報を見つけやすくなることができた。	
課題	・ 市民が館内の団体情報や活動に有益な情報をより手軽に触れることができるよう、引き続き提供方法の工夫が必要。 ・ インターネットによる情報収集発信が主流になっていることも踏まえ、情報収集発信サポートのあり方を見直す必要がある。	
実施概要	1. 趣旨 市民活動や協働の情報を収集、整理、提供 (1) 概要 ① 市民活動、協働等に関する情報の収集及び提供、団体情報ファイルの管理 ・ 内容：市民活動団体が発行する紙媒体を、当センター内に配架した。扱った紙媒体は、団体ごとに No. を設定して検索可能な形でファイリングをし、相談等に活用した。対象者に情報が届きやすいよう配架場所を改善。検索性を高めるため、POP の統一化、ニューズレターの項目の再整理を行った。 ・ 媒体：団体紹介シート、チラシ、ニューズレター、報告書等 ・ 対象：市民活動やまちづくり関心のある市民、活動団体など ・ 場所：館内の対象に届きやすい場所に設置 1 階：チラシ／ニューズレター／助成金情報 3 階：団体パンフレット／企業 CSR 情報 5 階：ポスター	

	②市民活動、協働等に関する図書資料の購入、管理及び貸出 ・ 内容：図書資料の購入、貸出、管理を実施した。利用者が求める図書を探しやすいよう、図書分類の改善をした。市民活動団体に有益な図書資料情報を機関紙、WEBを通じて発信、館内でも掲示をした。より必要な対象者に届くよう、事業開催時に事業関連図書を掲示した。 ・ 媒体：書籍、活動報告書などの図書資料 ・ 対象：市民活動やまちづくりに関心のある市民活動団体、企業、行政など ・ 場所：1 階情報サロン ③市民活動団体等のチラシ、ポスター等の受付け及び掲示 ・ 内容：市民活動団体が開催する事業の発信をサポートをした。助成金や補助金情報、他施設の情報、人材募集に関する情報など、市民活動に有益な情報を収集し、当センター内への配架やWEB 媒体を通じて発信した。 ・ 媒体：市民活動団体のチラシ、ニューズレター、ポスター、パンフレット等の紙媒体、およびWEB。 ・ 対象：市民活動やまちづくりに関心のある市民活動団体、企業、行政など ・ 場所：チラシは1 階情報サロン、ポスターは5 階交流サロン、市民活動シアター利用事業は、外壁看板に掲示した。WEB での発信はブログをベースにし、ツイッターにて拡散した。 ④その他の情報収集提供業務 ・ 内容：全国各地の協働によるまちづくりに関する情報が収集できるコーナーを制作し、協働の手法やまちづくりに関する資料を展示した。 ・ 展示媒体：フリーペーパー、報告書、小冊子など紙媒体を基本とする ・ 場所：1 階情報サロン ・ 対象：市民活動やまちづくりに関心のある市民、活動団体、企業、行政など。 <協働コーナー（まちのわライブラリー）> 4 月～ ぱれっと 200 号記念、ぱれっと特集 6 月～ 企業とのまちづくり協働事例 8 月～ 全国の協働事例（沖縄、九州、四国、中国、近畿） 9 月～ 全国の協働事例（東海、関東、甲信越） 11 月～ 11 月に実施したマチノワ WEEK イベントに関連した資料展示 11 月後半～ 全国の協働事例（東北・北海道） 2 月～ 神戸の視察による市民協働事例 3 月～ 地域コミュニティの協働事例
添付	☐ 広報物 ☐ 配布資料 ☐ アンケート結果 ☐ その他（ ）

個別事業報告書

事業名称	施設機関紙やWEB媒体での発信による市民活動や協働の情報提供【発展】	
業務仕様	情報収集提供業務 ① 市民活動，協働等に関する情報の収集及び提供 ④ 機関紙の発行 ⑤ ホームページの管理及び更新 ⑥ その他の情報収集提供業務全般	
事業目的	多様な主体の協働によるまちづくりに必要な情報を、より多くの市民に届け、市民活動や協働によるまちづくりへの興味関心を高める。	
事業効果	市民活動や協働によるまちづくりに関する情報流通が活発になり、市民がそうした情報に触れる機会が増える。	
成果	成果目標	まちづくりに関心を持ち、取り組む人材を増やす。
	実施目標	WEB ・ ホームページのページビュー140,700、ブログのページビュー471,000 平成 26 年度実績：ホームページ※解析ツール変更のため欠測が発生→見込値 127,872（実測値 113,413）、ブログ 428,105 を根拠とした 機関紙 ・ 年間 3000 部×12 号を発行し、協働の事例を年間 12 件紹介する。
	1. ホームページの管理及び更新 ・ ホームページのページビューは 142,723、ブログのページビューは 353,746。 2. 機関紙の発行 ・ 年間 12 回、36,000 部発行。 ・ 配布部数は、平均 2,734 部。昨年度から比べると 134 部増加。 ・ 取材執筆に関わった大学生は、平成 28 年度 4 月号～3 月号までで 6 名。 情報交換やミーティング参加などを含めると 25 名程度の大学生が関わった。市民活動に関心のない大学生にも読者層が広がった。 ・ 取材執筆に関わった市民ライターは、平成 28 年度 4 月号～3 月号までで 11 名。 ・ デザインに微調整を加え、情報量を増やした。 ・ 団体関係者への配布、イベントでの配布など、掲載団体による活用が目立った。 ・ 多くの人に目にしてもらえる機会が増えたことで、マスメディアとの情報交換が活発化。ぱれっとで取り上げられたことで、他のメディアでも取り上げられたり、他機関のイベントのゲストとして声がかかったなど、市民活動に取り組む市民を広く知ってもらえるきっかけとなった。 市民活動の情報発信に関わる人が増えたこと、配布部数が増加したことから市民活動や協働によるまちづくりに関する情報流通が活発になり、市民がそうした情報に触れる機会が増えたと考える。 情報発信による効果を団体と共有することができ、情報発信の大切さを団体に伝えることができた。また、これらの成果から生涯学習支援センター主催の仙台市内の社会教育施設職員を対象とした広報講座の依頼を受けるなど、他機関への広報支援活動にも繋	

	がった。
課題	①WEB ・ ブログ掲載情報の種類の充実 ・ タイトルなど、読まれるためのノウハウ蓄積 ・ 更新頻度を上げるための体制づくり ・ 読者に二次拡散され波及効果を生むための、拡散力あるホームページとブログの記事形成 ②ぱれっと ・ 配布先と部数の再整理と開拓の継続 ・ 市民ライターや学生記者との継続的な連携において、定期的な交流の創出が必要。 ③全体 ・ SNS の普及に伴い拡散が容易にできることから、引き続き WEB や紙媒体、窓口など広報ツールの連動を考える必要がある。
実施概要	1. ホームページの管理及び更新【参照：資料 10】 ・ ホームページの管理及び更新、ブログの更新 ・ ツイッターによる拡散 2. 機関紙の発行 (1)発行 ①毎月 1 日 ②月／3000 部、年／36,000 部発行 (2)仕様 ①A3 サイズ、2 つ折り、4 ページ、フルカラー (3)構成【参照：資料 12】 P1 今月のワクワクビト P2-3 協働のまちづくり事例 P2-3 お役立ち本・コトハジメ・ココチェック・インフォメーション P3 市民ライターによる団体紹介 P4 サポセンからのお知らせ (4)工程 ①スケジュール ・ 1 号あたり、編集会議から納品まで約 1 ヶ月半 ②工程 ・ 内部編集会議→連携先との編集会議→取材執筆→デザイナーと校正作業→センター長、副センター長確認→印刷入稿→納品→発送及び配布
添付	■その他（機関紙現物、資料 12）

個別事業報告書

事業名称	仙台に情報の背骨を通すプロジェクト（以下、骨プロ）の新運用検討【発展】		
業務仕様	情報収集提供業務 ① 市民活動、協働等に関する情報の収集及び提供 ③ 市民活動団体等のチラシ、ポスター等の受付及び提供 ⑥ その他の情報収集提供業務全般		
事業目的	多様な主体の協働によるまちづくりに必要な情報を、より多くの市民に届け、市民活動や協働によるまちづくりへの興味関心を高める。		
事業効果	市民活動や協働によるまちづくりに関する情報流通が活発になり、市民がそうした情報に触れる機会が増える。		
成果	成果目標	・ 参画施設及び施設担当課との共通認識を持つ。	
	実施目標	・ チラシ取扱い件数：900 件 ・ 骨プロの趣旨、役割、機能を整理する。	
		・ チラシ取り扱い件数：817 件（平成 27 年度実績比 103%）	
課題	・ 骨プロ運用から、11 年が経過している。平成 27 年 7 月に施行された仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例なども踏まえ、時流にあわせた運用が必要である。 ・ 骨プロ参加施設間のやり取りが少なく、施設相互の配架状況や情報利用の度合いが把握しづらくなっている。		
実施概要	① チラシ配架システムの継続 仙台市市民活動サポートセンターが窓口となり、利用対象者が持ち込んだチラシを収集。毎週火曜日に、仙台市本庁舎と仙台市教育局の文書集配室を活用し、参画施設にチラシを郵送する。参加施設は、運用開始時に配布した骨プロチラシラックにチラシを配架する。 ② 骨プロ参加施設一覧（平成 28 年度 3 月末時点） ・ 仙台市生涯学習支援センター ・ せんだいメディアテーク ・ 日立システムズホール仙台 ・ エル・パーク仙台 ・ エル・ソーラ仙台 ・ 仙台市ボランティアセンター ・ のびすく仙台 ・ のびすく泉中央 ・ のびすく長町 ・ 戦災復興記念館 ・ 仙台市市民活動サポートセンター		
添付	☐ 収支計算書 ☐ 広報物 ☐ 配布資料 ☐ アンケート結果 ☐ その他（ ）		

個別事業報告書

事業名称	多様な相談に対する対応の実施【継続】	
業務仕様	(3) 相談業務 幅広い分野の市民活動, 団体の法人化, 組織運営及び協働等に関する各種相談対応	
事業目的	幅広い分野で活動する市民活動団体・企業・地縁組織・行政など多様な相談者が常時相談できる環境を構築し、市民活動や協働を後押しする。	
事業効果	多様な市民が、市民活動、地域づくり、社会課題解決を目指した活動等について気兼ねなく相談でき、専門的なアドバイスを受けられるようになる。	
成果	成果目標	・市民活動関係者のみならず、多様な主体の相談者が常時相談できる環境を構築する。 ・5 団体を伴走型相談事業へつなぐ
	実施目標	・活動相談の年間相談件数 520 件（平成 26 年度比約 110%）
	・年間相談件数 861 件（27 年度比 132%）、内活動相談件数 425 件（27 年度比 126%）の相談実績があった。 ・行政・外郭団体からの相談が 22 件（27 年度 12 件、27 年度比 183%）、企業からの相談が 55 件（27 年度 32 件、27 年度比 172%）、町内会や学校法人からの相談が 27 件（27 年度 15 件、27 年度比 180%）と大幅に増加しており、その内活動相談は行政・外郭団体 16 件（27 年度 8 件、27 年度比 200%）、企業 34 件（27 年度 19 件、27 年度比 179%）、町内会や学校法人 18 件（27 年度 8 件、27 年度比 225%）とこちらも大幅に増加している。多様な主体の相談者が相談できる環境を構築できたと言える。 ・6 団体と、個人 2 名について、伴走型相談事業（事業番号 5）へつなぎ、伴走型相談予備軍としてカルテ化を実施。継続的に事業立ち上げのための整理や、経理に関する相談を行った。 ・公益社団法人仙台市産業振興事業団が運営する仙台市企業支援センター「アシ☆スタ」と連携し、「起業・創業なんでも相談 DAY」に出張相談員として参画。年間を通して 5 件の相談に対応。9 月 28 日にはワンポイント講座「社会起業と資金調達」を開催し 5 名の受講があった。	
課題	・活動相談は、平成 27 年度より増加（27 年度比 126%）したものの、目標の 520 件には届かなかった。 ・伴走型相談事業(事業番号 5)につなぎ、カルテ化を実施した 6 団体、個人 2 名いずれも、専門家による伴走型専門相談の実施にまでは至らなかった。	
実施概要	○相談コーナーの運営 趣旨： ・常設の相談コーナーを設置することで、相談者が相談しやすい環境を整備した。また、専門スタッフを配置する事で高い専門性のもと相談対応の実施や、相談内容に応じた内部人材や外部機関との相談コーディネートを実施した。 ・改正条例で掲げられている「自立、連携、創発」の基本理念に照らし合わせて相談内容を記録し、各理念に該当する相談件数など数値データを積み上げた。 基本情報：	

	相談受付時間（休館日をのぞく）： 平日：午前 10 時～午後 8 時 ／ 日曜・祝日：午前 10 時～午後 5 時 場所：仙台市市民活動サポートセンター3F および 1F 相談料：無料 対象：市民活動団体、NPO 法人、一般社団法人、地縁組織、企業、個人事業主、 教育機関、行政・外郭団体、市民など 業務内容： ①相談対応 ・一次対応：相談内容の整理、想いの受け止め、適切なつなぎ先の選定、情報提供。 ・二次対応：当センター内の人材・他機関・専門家への取り次ぎ。 ・三次対応（伴走型相談）：事業番号 5「伴走型相談による個別支援」の実施 ②ケース管理 ・相談結果及び経過は相談データベースに登録し、後述のケースミーティングや団体カルテとして活用した。相談データベースや団体カルテは、伴走型相談による個別支援を実施する団体を選定する際にも利用した。 ③協働相談 ・協働事業提案制度の事前相談において内容への助言、相談・調査先となる行政部署の紹介を行った。 ・協働まちづくり推進助成制度の事前相談において内容への助言を行った。 ・その他、必要に応じて随時協働の相談に対応した。 ④情報整備及び提供 ・相談対応に必要な情報収集：助成金情報、関連する法改正、市民活動団体の状況等 ・収集した情報の整理及び提供：3F での情報提供、市民活動お役立ち情報の制作等 ・効果的な情報を提供するための環境整備：3F のレイアウト、機能整備、広報物の制作等 ⑤アウトリーチ相談 ・地域機関との連携事業（事業番号 7-2）での情報収集などを基に、地域機関（太白区中央市民センター、宮城野区中央市民センターなど）が地域の市民活動団体やその他の組織等を対象とした事業を実施するにあたり相談に応じた。 ・活動力強化講座（事業番号 4-2）の参加団体に対し、講座フォローのため、実際の活動現場を訪問し、アウトリーチ相談を行った。
添付	☐ 広報物 ☐ 配布資料 ☐ アンケート結果 ☒ その他（資料 13）

個別事業報告書

事業名称	市民活動を「知る」「体験」「学ぶ」機会づくり【継続】	
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ① 市民活動の促進と自立に向けた支援 ア：地域や社会の様々な課題の解決に、自主的、自発的に取組む市民を増やし、育成するための事業の企画及び実施	
事業目的	市民活動や地域づくり等への興味関心を高めると共に、活動者や支援者としての行動を起こすはじめの一步を後押しし、活動を行う市民を増やす。	
事業効果	市民活動や地域づくりに関心を持つ市民が増え、一人ひとりが地域生活、趣味、仕事など様々な形で市民活動や地域づくりに関わり始める。	
成果	成果目標	・事業参加をきっかけにした活動参画事例 10 件の創出（事業番号 3-1～3-2 を通じて） ・年間 90 名の参加者
	実施目標	・年 5 回実施
	・ハジマルフクラムプロジェクト 3 回、仙台ちよっとまち歩き 市民活動の現場を巡る 2 回の計 5 回開催。 ・年間参加者 84 名（うち新規利用者は 15 名） 1. ハジマルフクラムプロジェクトの実施 ・3 回開催で 68 名の参加 ・実際に市民活動者の声を聞き、参加者も発言できるトークを経験することで、参加者に市民活動やまちづくりへの関心や参加を促すことができた。 ・ゲストと参加者との交流が盛んなイベントとなった。イベント中にゲストと参加者で会話が弾んだ結果、ゲストから活動のための助言を受ける参加者が散見された。 ・2 月 12 日開催の Vol. 3 では、会場を 1 階交流サロンにした。開放的で参加が容易な雰囲気演出できた。また、建物の外からイベントの様子が見えることで、より市民活動潜在層の目に触れるイベントを実施できた。 2. 仙台ちよっとまち歩き 市民活動の現場を巡るの実施 ・2 回開催で 16 名の参加 ・団体への訪問時には参加者から積極的に質問が出ており、訪問依頼した団体からも活動内容や思いを市民に伝える有効な機会の創出だった。 ・参加者からの感想では「昔から知っている場所だが、全く知らない一面を見ることができた」などといった市民活動の目線で自分の住む街を見直したとの声が聞かれた。 3. 事業参加をきっかけにした活動参画事例（11 件） ・ハジマルフクラムプロジェクトのゲストがサポートし、参加者が初めての企画を実施することになった。 ・ハジマルフクラムプロジェクトのゲストが参加者のプロジェクトに参加し、活動地域を広げた。 ・ハジマルフクラムプロジェクトのゲストと参加者がコラボレーションし、互いの活動の幅を広げた。（2 件）	

	・ハジマルフクラムプロジェクトの参加者が、ゲスト団体の活動に参加した。(3 件) ・ハジマルフクラムプロジェクトの参加者が、ゲストの経験談を参考に始めての企画を実施することになった。 ・事業 3-2「市民ライター講座」の参加者が自身の活動を継続し、3-1 事業新企画である「まち歩き」への参加。その様子を自身のメディアで発信した。 ・事業 7 で繋がりがあった高校教員が、まち歩きに参加。自身が企画する中高生向けの NPO に関する理解促進のイベントの参考にいただいた。 ・ハジマルフクラムプロジェクトに、25 年度から参加していた人が自身の活動をスタートさせ、28 年度開催時のゲストとして登壇することになった。												
課題	・市民力を向上させるため、地域づくりや市民活動への多様な関わり方を知ってもらうためのイベントの継続。 ・イベント参加をきっかけに市民活動や地域づくり活動を始めた参加者を後追いし、活動の成果発表の機会を設けるなど、活動参画事例を可視化する仕掛け作りが必要。 ・まちあるきイベントについて実施時期及び、時間の再考を含めた環境の整備。イベント実施の際、気候や天候の不順や実施時間が長くなることで、参加者及び訪問団体の事業参加へのハードルが生じた。 ・年間参加者数の目標を達成するための、イベント内容の充実や広報施策見直しを含めた企画の検討。												
実施概要	1. 事業名：ハジマルフクラムプロジェクト (1) 概要 ①趣旨：自分のライフスタイルの延長として、地域づくりや市民活動に取り組む人の話を伺うトークイベント。地域の課題解決に取り組むことに関心を持ってもらうとともに、集まった人たちの交流からまちづくりへの多様な関わり方を知ってもらうことを目指す。 ②内容 ・時間：各 120 分 ・詳細：ゲストスピーカーの団体及び活動紹介の後、参加者を交えたトークセッションを行うもの。 ・対象：社会課題やその解決策に興味のある方、何か始めたいがアクションのイメージがまだない方、人と話をするのが好きな方、地方でのまちづくりに興味がある方。 ・定員：各 20～30 名 <table><tr><th colspan="4">Vol. 1 「転勤族と町内会と語るせんだい進化論」</th></tr><tr><th>日時</th><th>会場</th><th>ゲスト</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>7 月 31 日 (日) 13:30～15:30</td><td>6 階 セミナーホール</td><td>○WE SENDAI 転勤族チーム 大山宗之さん 田代智志さん ○片平まちづくり会のりっぱ準備会 柳谷理紗さん 関本欣哉さん</td><td>17 名</td></tr></table> Vol. 2 「” わたくしごと” に潜む、社会を動かすチカラ」	Vol. 1 「転勤族と町内会と語るせんだい進化論」				日時	会場	ゲスト	参加人数	7 月 31 日 (日) 13:30～15:30	6 階 セミナーホール	○WE SENDAI 転勤族チーム 大山宗之さん 田代智志さん ○片平まちづくり会のりっぱ準備会 柳谷理紗さん 関本欣哉さん	17 名
Vol. 1 「転勤族と町内会と語るせんだい進化論」													
日時	会場	ゲスト	参加人数										
7 月 31 日 (日) 13:30～15:30	6 階 セミナーホール	○WE SENDAI 転勤族チーム 大山宗之さん 田代智志さん ○片平まちづくり会のりっぱ準備会 柳谷理紗さん 関本欣哉さん	17 名										

	日時	会場	ゲスト	参加人数												
	11月3日 (木・祝) 15:00~17:00	4階 研修室5	○鶴岡ナリワイプロジェクト 井東敬子さん ○OPEN SPACE KIKO 勝水与茶さん ○カワラバン 菅原正徳さん	30名												
	Vol.3 「”わたくしごと”に潜む、社会を動かすチカラ」															
	日時	会場	ゲスト	参加人数												
	2月12日(日) 14:00~16:00	1階 情報サロン	○大人のための絵本の読み聞かせやさん 菅原香さん ○ベガルタ仙台・市民後援会 三船博庸さん ○ロックバンド Mon-stella 白鳥颯也さん	21名												
2. 事業名：仙台ちょっとまち歩き 市民活動の現場を巡る (1)概要 ①趣旨：本事業は、実際に市民活動や地域活動に参加したい人向けに行う事業である。今まで、市民活動や地域活動に触れる機会の少なかった方々が、実際に活動を体験することにより、それらの活動への興味関心や理解を促進する。 ②内容 ・時間：180分～240分（訪問団体数やコースにより変動） ・詳細：市民活動を行う団体の活動現場に訪問し、活動内容などを直接聞く機会を提供する。 ・対象：市民活動やボランティア等に興味のある個人やグループ、当センターをまだ知らない個人など ・定員：各10名 ・会場：各回訪問団体の位置する地域。																
<table border="1"> <tr> <td>日時</td><td>訪問エリア</td><td>訪問団体</td><td>参加人数</td></tr> <tr> <td>9月24日(土) 10:00~13:00</td><td>定禅寺通り・国分町</td><td>公益社団法人日本駆け込み寺仙台支部 NPO 法人アマニ・ヤ・アフリカ 一般社団法人 Granny Rideto</td><td>9名</td></tr> <tr> <td>1月28日(土) 10:00~14:00</td><td>長町</td><td>NPO 法人おりぞの家 長町遊楽庵びすた〜り（運営：NPO 法人 ほっぷの森）</td><td>7名</td></tr> </table>					日時	訪問エリア	訪問団体	参加人数	9月24日(土) 10:00~13:00	定禅寺通り・国分町	公益社団法人日本駆け込み寺仙台支部 NPO 法人アマニ・ヤ・アフリカ 一般社団法人 Granny Rideto	9名	1月28日(土) 10:00~14:00	長町	NPO 法人おりぞの家 長町遊楽庵びすた〜り（運営：NPO 法人 ほっぷの森）	7名
日時	訪問エリア	訪問団体	参加人数													
9月24日(土) 10:00~13:00	定禅寺通り・国分町	公益社団法人日本駆け込み寺仙台支部 NPO 法人アマニ・ヤ・アフリカ 一般社団法人 Granny Rideto	9名													
1月28日(土) 10:00~14:00	長町	NPO 法人おりぞの家 長町遊楽庵びすた〜り（運営：NPO 法人 ほっぷの森）	7名													
添付	☐ 収支計算書 ☒ 広報物 ☐ 配布資料 ☐ アンケート結果 ☐ その他（ ）															

個別事業報告書

事業名称	市民メディアの担い手育成【継続】				
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ① 市民活動の促進と自立に向けた支援 ア：地域や社会の様々な課題の解決に、自主的、自発的に取組む市民を増やし、育成するための事業の企画及び実施				
事業目的	市民活動や地域づくり等への興味関心を高めると共に、活動者や支援者としての行動を起こすはじめの一步を後押しし、活動を行う市民を増やす。				
事業効果	市民活動や地域づくりに関心を持つ市民が増え、一人ひとりが地域生活、趣味、仕事など様々な形で市民活動や地域づくりに関わり始める。				
成果	<table border="1"> <tr> <td>成果目標</td><td> ・ 15 人の講座受講者と、7 人のフィールド活動参加者 ・ 事業参加をきっかけにした活動参画事例 10 件の創出（事業番号 3-1～3-2 を通じて） </td></tr> <tr> <td>実施目標</td><td> ・ 講座を年 1 回実施＋随時活動日を設定 </td></tr> </table> (1) 市民ライター講座の実施 ・ 25 人参加（うち 7 人は座学のみ参加） ・ 河北夕刊紙面 6 件・オンラインコミュニティ 17 件掲載 ・ 情報発信をしたいと考えている市民のスキルアップにつながった。 ・ 実際に取材体験をすることで、地域の魅力を発掘し、地域課題に目を向ける視点を持つことができた。 (2) 市民ライター課外活動 ① 平成 25 年度～28 年度までの受講生と地域メディアとのマッチングを兼ねた同窓会開催（2016 キックオフミーティング） ・ 市民ライター 7 人参加 ・ 地域メディア 3 人参加 ・ 仙台放送と連携した企画提案（みやぎ市民アーカイブ） 1 人（平成 28 年度受講生） ② 活動参画事例 ・ ぱれっと取材執筆者 4 人（平成 28 年度受講生） 3 人（平成 27 年度受講生） 2 人（平成 26 年度受講生） ・ ぱれっと取材から、河北コミュニティ（kacco）ブログを通じた情報発信 2 人 ・ TOHOKU360（イーストタイムズ）市民通信員 1 人 ・ 活動の場を提供することで、発信者として一歩踏み出す後押しができた。 ・ これまでの受講生の中には、市民活動者もあり、今年度講座内で受講生たちの取材先として、つなぐことができた。また、ぱれっとの取材につながり、市民活動に関する情報発信が活性化した。 ・ 市民メディアの担い手づくりについて、市民センターから相談が寄せられるなど、地域情報を発信する市民の役割が認知されはじめた。※事業 7 に関連	成果目標	・ 15 人の講座受講者と、7 人のフィールド活動参加者 ・ 事業参加をきっかけにした活動参画事例 10 件の創出（事業番号 3-1～3-2 を通じて）	実施目標	・ 講座を年 1 回実施＋随時活動日を設定
成果目標	・ 15 人の講座受講者と、7 人のフィールド活動参加者 ・ 事業参加をきっかけにした活動参画事例 10 件の創出（事業番号 3-1～3-2 を通じて）				
実施目標	・ 講座を年 1 回実施＋随時活動日を設定				

	(3) 公開編集会議 ・ 55 人参加 ・ すでに情報発信を試みている人には、具体的な助言があり、活動を促進させた。また、情報発信に限らず市民活動者にとって活動発信に役立つ内容だった。 仙台外の取り組みや手法を知ることが、活動者の活動歩幅や視点を広げることにつながった。 ・ 「情報発信の面白さ」を求める活動から、「なんのために情報を発信するか」に着眼し、社会課題を意識した情報発信をする人が増えた。																		
課題	・ 市民力を向上させるため、書く力、取材コミュニケーション力をつける講座の継続。 ・ 情報発信活動のおもしろさを知り、市民による情報発信の役割を考える機会を継続的に設け、発信を続けるモチベーションを維持する仕掛けづくり。 ・ 地域メディアとサポセンの関係性を構築し、市民ライターが自主的に活動できる多様な場を開拓する。 ・ 地域メディアの実態の把握と可視化。																		
実施概要	1、市民ライター講座 (1) 趣旨 活字媒体または WEB サイトを通じて、広く市民活動の情報を拡散させるため、一次情報の作成者（市民活動に関わる現場での出来事を掘り起し、文章等で発信する人）である市民ライターを育成する。 ※事業名の「市民メディア」は、まちづくりや地域活性化などを目的に一般市民によって制作されたメディア（ミニコミ誌、ホームページ、SNS、ブログなど）を指す。 (2) 内容 市民がライティング技術（取材・執筆）を学び、情報発信する力を身に付ける講座を実施する。取材先を市民活動団体や地域活動等にすることで、市民活動を理解し広くまちづくり活動の興味関心の向上を図る。 講 師：河北新報社記者 大泉大介さん 三浦康伸さん 橋本智子さん 時 間：120 分× 4 日間の連続講座＋取材体験 参加費：無料 対 象：取材・編集・発信など情報発信に興味がある市民 地域活動やまちづくり活動に興味がある市民 河北 K a c c o ブロガー、学生インターンシップ受講者、SNS を活用する個人等 主 催：仙台市市民活動サポートセンター 協 力：河北新報社 <table><tr><th colspan="3">タイトル</th></tr><tr><td colspan="3">市民ライター講座 2016 ～取材・執筆体験で磨く！情報発信力～</td></tr><tr><td colspan="3">受講者 25 人(うち 7 人は座学のみ)</td></tr><tr><th>会場</th><th>実施日</th><th>内容</th></tr><tr><td>研修室 5</td><td>6 月 23 日（木） 18:30～20:30</td><td>取材と記事執筆の基本を講義</td></tr><tr><td>研修室 5</td><td>6 月 30 日（木）</td><td>模擬取材と記事執筆</td></tr></table>	タイトル			市民ライター講座 2016 ～取材・執筆体験で磨く！情報発信力～			受講者 25 人(うち 7 人は座学のみ)			会場	実施日	内容	研修室 5	6 月 23 日（木） 18:30～20:30	取材と記事執筆の基本を講義	研修室 5	6 月 30 日（木）	模擬取材と記事執筆
タイトル																			
市民ライター講座 2016 ～取材・執筆体験で磨く！情報発信力～																			
受講者 25 人(うち 7 人は座学のみ)																			
会場	実施日	内容																	
研修室 5	6 月 23 日（木） 18:30～20:30	取材と記事執筆の基本を講義																	
研修室 5	6 月 30 日（木）	模擬取材と記事執筆																	

	18:30~20:30	
現場	7月1日(金) ~3日(日)	取材体験 取材のテーマ「市民活動のやりがい」 取材協力団体(6団体):NPO 法人おりざの家・ぶんぶん カフェ・仙台いのちの電話(すみれの会)・過労死東北希 望の会・日本駆け込み寺仙台支部・@plus
研修室 5	7月7日(木) 18:30~20:30	取材の振り返りと課題原稿の添削・合評会
セミナー ホール	7月14日(木) 18:30~20:30	前回の添削を受けて課題原稿のブラッシュアップ

2. 市民ライター課外活動

(1)趣旨

市民ライターと、情報発信を必要とする地域や市民活動団体とをマッチングし、市民メディアに活躍の場を提供する。これにより、市民活動や地域活動を広く市民に伝え、活動の参画者やフォロワーを増やし、課題の解決につなぐ。

① 市民ライター課外活動キックオフ 参加者 10人(市民ライター)		
会場	実施日	主旨/内容
研修室 5	10月7日(金) 18:30~20:30	<主旨> 市民ライター講座 2014・2015・2016 受講生を対象とした ステップアップ講座と交流会。地域メディアとの連携創 出。 <内容> ①ミニ講座 講師: TOHOKU360(イーストタイムズ) 安藤歩美さん ②情報交換 地域メディア(話題提供者) ・あらっE(河北新報社): 畠山茂陽さん ・みやぎ市民アーカイブ: 館内亭太さん 溝井貴久さん ・TOHOKU360(イーストタイムズ) 安藤歩美さん ・サポセン「ぱれっと」: 松村 ③市民ライターとサポセンの連携について対話を深め る。※受講生たちの興味・関心・活動動機を引き出し ながら自主的な活動へのきっかけを探る。

3. 地域メディア公開編集会議

「共感を生み、伝わるメディアをつくろう」

(1)趣旨

情報発信に関心のある一般市民やマスメディアも交えて、活動の報告および他の地域での市民メディアの活動事例を知る機会を設ける。

	地域メディア公開編集会議 参加者 55 人		
	会場	実施日	内容
	5 階 交流サロ ン	11 月 3 日 (木・ 祝) 13:00~15:30	話題提供 ・ 工藤瑞穂さん (soar 編集長) ・ モリジュンヤさん (soar 副代表) 助言者 ・ 畠山茂陽さん (河北新報社「あらっ E」プロジェクト) ・ 大泉大介さん (河北新報社デジタル推進室記者) ・ 安藤歩美さん (TOHOKU360 イーストタイムズ) ファシリテーター ・ 桃生和成さん (一般社団法人 Granny Rideto)
	■ 広報物 ■ 配布資料 □ アンケート結果 ■ その他 (掲載記事)		
添付			

個別事業報告書

事業名称	市民活動初心者の人材育成【継続】			
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ① 市民活動の促進と自立に向けた支援 イ：市民活動を担う人材の課題発見力、事業の企画立案力及び事業遂行能力等を向上させるための事業の企画及び実施			
事業目的	市民活動を担う人材に対し、段階に応じた講座やワークショップを実施することで、活動力を総合的に引き上げる。			
事業効果	組織を構成する様々な人材の力が育まれ、組織の活動力や課題解決力が高まった結果、時流の変化に対応しながら地域や社会の課題解決に取り組む組織が増える。			
成果	成果目標	・ 課題解決に向けて行動する力を持つ人材を述べ 120 名育成。		
	実施目標	・ 年 8 回実施		
	・ 各講座の開催日時、参加人数、講座満足度の詳細は下記の通り。			
	事業名	開催日時	参加者 (定員 15 名)	講座満足度 (5 点満点中)
	はじめてのミニイベント 「企画運営基礎編」	5 月 28 日 (土) 14:30～15:30	6 名	4. 5
	はじめてのミニイベント 「企画書作成編」	5 月 28 日 (土) 16:00～17:00	7 名	4. 57
	はじめてのミニイベント 「企画運営基礎編」	7 月 9 日 (土) 14:30～15:30	12 名	4. 33
	はじめてのミニイベント 「広報編」	7 月 9 日 (土) 16:00～17:00	13 名	4. 5
	はじめてのミニイベント 「企画運営基礎編」	10 月 22 日 (土) 13:30～14:30	11 名	4. 28
	はじめてのミニイベント 「運営・事務局編」	10 月 22 日 (土) 15:00～16:00	10 名	4. 5
	はじめての助成金申請 「助成金基礎編」	12 月 10 日 (土) 13:30～14:30	24 名	4. 43
	はじめての助成金申請 「見せ方アピール編」	12 月 10 日 (土) 15:00～16:00	24 名	4. 76
・ 講座終了後、イベント企画や広報、助成金についての相談につながったケースがあった。 ・ 参加者アンケートには、「これまでしっかりと学ぶ機会はなかったので、非常に有益だった」 「基本に立ち返ることができた」「組織の内部固めの参考になった」といった声があった。 ・ 全ての講座満足度が 5 点満点中 4 点以上と高評価を得られた。 ・ 「はじめての助成金申請 助成金基礎編」「はじめての助成金申請 見せ方アピール編」に				

	については、定員を大幅に超える参加があった。						
課題	・ 8 回の講座で述べ 107 名の参加があったが、目標人数を達成することができなかった。次年度においては、ターゲットに合わせた広報戦略を立て、周知を促し、目標の達成を目指す。 ・ イベント実施や助成金申請を実際に行うまでのフォロー体制を構築できず、参加者の受講後の動きが把握できていない。今年度、相談につながったケースを鑑み、対策の一つとして相談機能を周知し、個別対応によるフォローにつなげたい。 ・ 参加者アンケートにて、今後受講したい講座希望の項目には、「プレゼンの仕方」「社会課題の見える化」「人材育成」「会計」を希望する数が多かった。また、今年度開催した「企画書作成」「広報」「運営・事務局」も次いで高く、継続して開催する受講ニーズが伺える。 ・ プレゼンの仕方や社会課題の見える化については、今年度は、助成金申請に絡めて、「見せ方アピール編」として実施した。助成金申請では、申請者が感じている課題を、社会の課題として伝えることが不可欠であり、その際は、根拠となる課題を実感だけでなく数値化・データ化を行い可視化する必要がある。こうした方法を学ぶ講座のニーズがあることがわかったため、次年度においても継続的に講座を展開する。 ・ 同アンケートにて、人材育成についての講座希望のニーズが伺えた。市民活動・イベントにおける人材育成のあり方の紹介を、運営事務局編に含めて開催する。 ・ 会計についてのニーズも高く、市民活動初心者を対象とした会計講座を開催する必要がある。						
実施概要	事業名：はじめての〇〇講座 (1) 概要 ①趣旨： 市民活動を担う人材が、身に付けておくべき基本的なノウハウを学べる機会を講座形式でつくる。平成 28 年度については、昨年度実施した「はじめてのミニイベント」の進め方を踏襲し 2 コマ連続開催とした。 ②内容 ・ 会場：仙台市市民活動サポートセンター 研修室 5 ・ 講師：当センタースタッフ ・ 参加費：無料 ・ 対象：市民活動初心者 （市民活動を立ち上げ予定の者、新規設立団体・NPO 法人、市民活動団体・NPO 法人で新たに何らかのイベントを企画する者、アイディアはあっても実行に移せていない者・団体、新たに広報担当になった者、手探りで活動していて運営に不安のある団体、新たな資金調達の必要性が迫られている団体など） <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企画運営基礎編 (年 3 回)</td><td>はじめてミニイベントを実施するに当たってのポイントを簡単に解説。イベントを実施するための全体の流れや注意事項を学ぶことを目的とする。</td></tr> <tr> <td>企画書作成編</td><td>はじめてミニイベントを実施する者を対象に、企画書作成の</td></tr> </tbody> </table>	テーマ	内容	企画運営基礎編 (年 3 回)	はじめてミニイベントを実施するに当たってのポイントを簡単に解説。イベントを実施するための全体の流れや注意事項を学ぶことを目的とする。	企画書作成編	はじめてミニイベントを実施する者を対象に、企画書作成の
テーマ	内容						
企画運営基礎編 (年 3 回)	はじめてミニイベントを実施するに当たってのポイントを簡単に解説。イベントを実施するための全体の流れや注意事項を学ぶことを目的とする。						
企画書作成編	はじめてミニイベントを実施する者を対象に、企画書作成の						

			ポイントを解説。アイディアを書き出していく個人作業も取り入れながら企画書作成の手順を学ぶ。
	イベント広報編		はじめてミニイベントを実施する者を対象に、広報の基本を解説。広報の基本となるチラシ作りのアイディアを考える個人作業も行う。
	運営・事務局編		はじめてミニイベントを実施する者を対象に、円滑に運営するための事務局の役割を紹介。具体的な手法や道具も紹介し、運営に必要なノウハウを学ぶ。
	助成金基礎編		助成金への申請を検討している者を対象に、資金源、助成金の性質、助成金を出す側の気持ちなどを紹介し、助成金とはどのようなものなのかという理解を促進する。
	見せ方7ルール編		助成金への申請を検討している者を対象に、課題を整理、数値化、見える化し、いかに伝わるようにするか、実例をあげながらその手法を学ぶ。
※ミニイベント：本事業では「自団体・グループ以外の人たちの参加も想定した小規模な企画（参加者：数名～100名、予算：10万円未満）」と定義した。			
添付	☒ 広報物 ☒ 配布資料 ☒ アンケート結果 ☐ その他（ ）		

個別事業報告書

事業名称	活動力強化講座 【継続】	
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ① 市民活動の促進と自立に向けた支援 イ：市民活動を担う人材の課題発見力、事業の企画立案力及び事業遂行能力等を向上させるための事業の企画及び実施	
事業目的	市民活動を担う人材に対し、段階に応じた講座やワークショップを実施することで、活動力を総合的に引き上げる。	
事業効果	組織を構成する様々な人材の力が育まれ、組織の活動力や課題解決力が高まった結果、時流の変化に対応しながら地域や社会の課題解決に取り組む組織が増える。	
成果	成果目標	・ 講座を受講した 60 名が、課題発見力。課題解決力を理解する。 ・ スクールを受講した 10 団体が自立して課題解決に取り組む力を身につける。
	実施目標	講座参加者 90 名 スクール参加団体 10 団体
	・ 講座参加者 24 名、スクール参加 8 団体（のべ 23 団体 36 名）が、NPO マーケティングの理論やソーシャルインパクトについて学び、事業プラン作成に取り組むことで、課題発見力、課題解決力の強化につながった。 ・ アクションプラン・スクールの参加者に対し継続的な相談対応でフォローし、伴走型相談の体制作りについてのヒントが得られた。 ・ アクションプラン・スクール参加団体の中には、長く任意団体だった組織の法人化を決断したり、組織の目的が明らかになって助成金獲得につながったり、参加団体間で連携関係ができて活動の場が広がるなど、具体的な課題解決につながる実績が得られた団体があった。 ・ アクションプラン・スクールを通して、活動のターゲットや組織のビジョン・ミッションを見直す団体もあり、今後の団体の事業作りに反映された。 ・ ソーシャルインパクトの講座では、NPO だけでなく、社会起業家や行政職員など多様な参加者に対し、学びの場を提供する事ができた。 ・ ソーシャルインパクトの講座の参加者から、「目標の数値化やスタッフの意識改革に役立たい」という感想があり、具体的な課題解決につながる意識づけができた。	
課題	【NPO マーケティング入門講座】 ・ 日時の設定に無理があり集客不足だった。 【社会を変えるアクションプラン・スクール】 ・ 組織としての参加を条件にしたため、自組織の課題解決策としてアクションを作成する点でハードルの高さがあり、途中脱落団体もあった。次年度は個人ワークとして自由な発想を引き出すなど、より参加してもらえるような工夫が必要である。 ・ 参加団体へのフォローを充実させるには、複数スタッフでのサポート体制が必要。 ・ 経営層の参加を見込んで平日日中に集中して開催したが参加が難しかったようである。土日や夜間などの開催と 1 回当りの時間短縮を検討する必要がある。 ・ スクール内容を理解されていなかった参加者があった。スクールの内容を正しく伝えるためのご案内が必要だったと思われる。	

	【ソーシャルインパクト】 ・WEEK 事業中の開催で、同日開催の起業系イベントと参加者層が重なったため集客が伸びなかった。				
実施概要	趣旨：市民活動団体が組織力・事業立案力を身につけ、戦略的な事業経営を実践するための学びの場を提供する。 内容： （1）事業名称：NPOマーケティング入門講座 日程：平成28年8月26日（金）9:30～12:00 会場：仙台市市民活動サポートセンター 地下 市民活動シアター 講師：株式会社 PubliCo 代表取締役 CEO 長浜 洋二 さん 参加費：無料 内容：NPO マーケティングの基本的知識を学ぶ。 社会を変える！アクションプラン・スクールの理解を助ける内容とし、無料お試し講座として開催。 対象：NPO マーケティングに関心のあるかたどなたでも 参加者：6名 （2）事業名称：社会を変えるアクションプラン・スクール				
	回	第1回	第2回	第3回	第4回
	開催日	8月26日（金）	9月8日（木）	9月9日（金）	10月7日（金）
	開催時間	13:00～17:00	10:00～17:00		
	実施項目	セミナー	アクションプラン検討	アクションプラン検討	発表会とブラッシュアップ
	内容	マーケティング基礎	課題の把握と可視化	成果目標・指標設定・個別面談	発表と内容検討 特別セミナー「ロジックモデル」
	作業に使用した資料等	提出資料： 団体ヒアリングシート	作成資料： ペルソナ作成・組織のポジショニングマップ	課題（ミニ発表）： 事業の改善案・広報手段と事業のキャッチコピー・団体概要及び今回取り上げる事業の説明	発表 PP 資料： 今後3年の中期事業計画（ビジョン・ミッション、社会動向、ターゲット、提供価値、各年度の重点取組施策、終始計画、事業の協働パートナー、主要な指標、人員計画） ※発表会にて各自採点票記入
		無料	1団体につき参加費1万円		

	会場：仙台市市民活動サポートセンター地下市民活動シアター 講師：株式会社 PubliCo 代表取締役 CEO 長浜 洋二 さん 参加者：8 団体（のべ 23 団体 36 名） 対象：市民活動団体の代表者・事務局長など事業戦略、資金調達を担う立場の方 1 団体 2～4 名での参加を促し、受講成果を組織的に取組める可能性を高めた。 (3)事業名：ソーシャルインパクト－社会的成果を生み、持続可能な活動を維持していくための経営戦略とは－ 日程：平成 28 年 11 月 4 日（金）15:00～18:00 WEEK 事業内の開催 会場：仙台市市民活動サポートセンター 6 階セミナーホール 講師：株式会社 PubliCo 代表取締役 COO 山元 圭太 さん 参加費：無料 内容：ソーシャルインパクトについて理解し、自団体の活動をより社会を変えるアクションに転換する考え方について学ぶ。 対象：どなたでも 参加者：18 名
添付	■チラシ ■配布資料 ■アンケート結果

個別事業報告書

事業名称	伴走型相談による個別相談 【継続】	
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ① 市民活動の促進と自立に向けた支援 ウ：市民活動団体の組織運営基盤（事務局運営、税務、労務、会計、資金、人材、広報等）を強化するための事業の企画及び実施	
事業目的	他機関・専門家と連携して市民活動団体の組織運営基盤を強化し、自立的な組織基盤を持った市民活動団体を育成する。	
事業効果	高い組織運営力や事業遂行能力を持つ市民活動団体が増えることで、企業や行政セクターからの信頼性が向上し、協働が生まれる素地ができる。	
成果	成果目標	・ 個々の市民活動団体が、組織課題を解決に向けて整理し、組織運営の基盤を強化する。
	実施目標	・ 伴走型専門相談を 6 団体、年 15 回程度実施（1 団体 上限 3 回） ・ 伴走型相談予備軍のカルテ化を 10 団体程度実施
		・ 伴走型相談予備軍のカルテ化を 13 団体、個人 2 名で実施。 ・ 多様な相談に対する対応の実施（事業番号 2）で相談対応を行った 6 団体と個人 2 名、活動力強化講座（事業番号 4-2）参加団体から 7 団体について伴走型相談予備軍としてカルテ化した。（実績計 13 団体、個人 2 名）
課題	・ 伴走型専門相談の実施を模索したが、実際に専門家に相談を依頼する団体が無く、実施に至らなかった。一方で、活動力強化講座の参加団体についてスタッフが伴走しながら講師による相談を行う形でフォローを実施した。講座と組み合わせた伴走型専門相談の実施についても検討する余地がある。	
実施概要	趣旨：当センターが持つ専門性とネットワークにより、伴走型で個々のニーズに基づいた支援に取り組む。様々な専門家や団体による定期的な専門相談と、担当スタッフ制による状況確認を行い、自立した組織基盤を持った市民活動者を育成する。 基本情報： 相談受付時間（休館日をのぞく）：予約制、1 回 45 分 場所：仙台市市民活動サポートセンター3F 相談料：無料 相談回数：1 団体につき年 3 回程度 対象：市民活動団体、NPO 法人、企業、行政など 専門家による助言が必要不可欠または専門家による助言により、課題解決が大きく進むと考えられる事例を対象とする。 内容： ・ 当センタースタッフが相談対応を実施し課題を整理する。 ・ 相談内容が専門家の対応が必要なものであれば、伴走型相談体制へと移行する。 ・ 現段階では専門家対応は不要だが、継続的な相談支援が必要な場合について、スタッフが継続的に相談を実施し、伴走型相談の予備軍としてカルテを作成し動向を把握した。	
添付	☐ 広報物 ☐ 配布資料 ☐ アンケート結果 ☐ その他（ ）	

個別事業報告書

事業名称	市民活動団体の交流機会の創出【新規】	
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ②交流及びネットワークづくりの支援 様々な市民活動団体が、活動分野や領域を超えて交流・情報交換する機会を提供するなど、個々の活動の幅を広げ、団体間のネットワークづくりを支援するための事業の企画及び実施	
事業目的	市民活動団体同士の交流機会を創出し、ネットワーク化を推進する	
事業効果	団体が持つ人材、得意分野、資源、課題などの情報共有ができるコミュニケーションが活発になり、ネットワークが生まれやすくなる。	
成果	成果目標	・参加団体同士の認知向上が進み、多様な市民を巻き込んだ創造的で有機的なネットワークが生まれる。
	実施目標	・延べ 400 名の参加者
	・4 日間で延べ 1,134 名の参加者、個別企画参加者数でみても 782 名と実施目標を大きく上回った。 ・関連機関に 8 つの企画をご提供頂き、市民活動、地域活動、ソーシャルビジネス等のテーマが分断されず、公益活動に関わる人材が集まり交流する機会となった。	
課題	・関連機関に企画提供頂くにあたり、役割分担、情報共有、クレジット名義など共催先と調整が詰め切れない点が発生した。 ・取り上げたテーマが多彩だったため、参加者から情報の取捨選択が難しいという声を頂いた。	
実施概要	事業名：「マチノワ WEEK～まちづくりのアイデア広場「触れる」「交わる」「考える」～」 ①趣旨： ・市民活動団体、地域団体、企業、大学、行政等の多様な主体が集まり、地域の課題解決やまちの魅力づくり等、仙台市のまちづくりについて考え、意見を交わし、交流を深める機会を創出する。 ・市民のまちへの思いを引き出し、地域活動、起業、市民活動など広い意味でのまちづくりに関わるきっかけを作る。 ②内容 ・日程：11 月 3 日（木）～11 月 6 日（日） ・会場：市民活動サポートセンター全館 ・参加者数：延べ 1,134 名※情報閲覧者 352 名含む ・主催：仙台市市民活動サポートセンター（指定管理者：NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター） ・共催：公益財団法人仙台市産業振興事業団（仙台市起業支援センター“アシ☆スタ”）、地域メディアネットワーク検討会、公益財団法人仙台市市民文化事業団（せんだい演劇工房 10-B0X）、公益財団法人せんだい男女共同参画財団、仙台ミラソン実行委員会、東北大学高度教養教育・学生支援機構 課外・ボランティア活動支援センター、東北学院大学地域共生推進機構（順不同） ・企画提供：仙台市（プロジェクト推進課、防災環境都市推進室、各区まちづくり推進	

事業番号 6

	課、地域産業支援課)			
添付	■広報物	□配布資料	□アンケート結果	■その他(報告書)

個別事業報告書

事業名称	地域機関との連携	
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ③多様な主体による協働の推進 ア：市民活動団体、地域団体、企業、大学、行政等の多様な主体による、地域や社会の様々な課題の解決に向けた新たな協働の可能性を見出し、協働の実現につなげていくための事業の企画及び実施	
事業目的	当施設と地域機関の関係性を深め、市民活動や協働を支援するノウハウを移転し、地域における協働の取り組みを広げる。	
事業効果	地域の課題や特性に合わせた市民活動や協働の取り組みが促進される。	
成果	成果目標	平成 29 年度の地域機関との事業連携 1 件
	実施目標	地域機関との関係性深化
	・平成 27 年度から地域機関と関係性を構築し続けたことにより、「まちづくり活動団体情報交換会おりませトーク」、「まちづくり支援組織拡大情報交換会」を実施できた。	
課題	【地域】 ・地域機関に地域活動や市民活動の支援ができるサポーターが少なく、ニーズがあるものの支援を受けられていない市民がいる。 【地域機関】 ・職員の異動等の理由により、地域活動や市民活動を支援するノウハウの蓄積が難しい。 【市民活動サポートセンター】 ・平成 29 年度も地域機関からの様々な地域活動や市民活動の支援協力依頼が増加すると想定される。地域の実情に応じた要望に継続的に応えていくためには、マンパワーが不足している。	
実施概要	地域機関との連携 ①概要 ・連携機関が主催する市民力の育成や協働推進を目的とした事業で、当センターに協力依頼や相談があった案件について、必要に応じてスタッフがコーディネーター等として機能しながら事業への協力を実施した。 ②具体事例 ・宮城野区中央市民センター 若者社会参画型学習推進事業「まいぷろ」 ※「まいぷろ」（主催：宮城野区中央市民センター） 若者たちのボランティアや地域活動に対するハードルを下げ、スムーズかつ継続的に活動していくための基本を学ぶ場づくりを行なう。「まいぷろ」での学びが、まちづくりに臨む姿勢や、新たな活動を生み出す意欲につながることを目的にしている。 28 年度は、地域情報を発信する壁新聞作成を通じ、地域づくりに関わる若者を育成した。	
	日程	内容

		4月9日 事業計画相談 4月18日 事業計画相談 5月10日 事業計画相談 5月23日 ゲストマッチング 6月1日 尚綱高校訪問 6月9日 事業打合せ 6月25日 まいぷろ 第1回 7月2日 まいぷろ 第2回 7月18日 まいぷろ 第3回 平日フェス取材 7月26日 まいぷろ 第4回 編集会議 8月2日 まいぷろ 第5回 編集会議 8月31日 第2期 MTG 9月3日 まいぷろ 第6回 9月29日 第2期 MTG 10月1日 まいぷろ 第7回 水族館取材 10月15日 まいぷろ 第8回 10月28日 まいぷろ 第9回 12月5日 最終発表会 MTG 12月7日 まいぷろ 第10回 編集会議 12月10日 まいぷろ 最終発表会 1月6日 市報告会 打ち合わせ 1月15日 市報告会 3月3日 マイプロジェクトアワード リハーサル 3月4日 マイプロジェクトアワード 本番	
		宮城野区市民企画員講座	
		3月10日 宮城野カルタづくり 企画相談	
		・ 太白区中央市民センター	
		若者社会参画型学習推進事業	
		「つながりんぐ～大学サークルネットワーク事業～」	
		6月7日 事業協力相談	
		6月9日 つながりんぐ編集会議 参加	
		・ 太白区まちづくり推進課	
		6月13日 カフェ太白打合せ	
		8月27日 まちづくりサロン カフェ太白	
		9月13日 太白区民まつり 打ち合わせ	
		10月16日 太白区民まつり 出展	
		12月22日 まちづくりサロン カフェ太白打合せ	
		1月29日 まちづくりサロン カフェ太白	
		・ 宮城野区まちづくり推進課	
		2月8日 まち活動成報告会 オブザーバー参加	
		・ 仙台市5区まちづくり推進課	

	まちづくり活動団体情報交換会 おりませトーク、 まちづくり支援組織 拡大情報交換会、の実施。(別添：開催要項)																														
	<table border="1"> <tr> <td>5月24日</td><td>情報交換会</td><td>5区まちづくり推進課</td></tr> <tr> <td>8月9日</td><td>まちづくり活動団体情報交換会</td><td>MTG 宮城野区まち課</td></tr> <tr> <td>8月22日</td><td>まちづくり活動団体情報交換会</td><td>MTG 宮城野区まち課</td></tr> <tr> <td>9月15日</td><td>まちづくり活動団体情報交換会</td><td>MTG 宮城野区まち課</td></tr> <tr> <td>10月3日</td><td>まちづくり活動団体情報交換会</td><td>MTG 若林区まち課</td></tr> <tr> <td>10月4日</td><td>まちづくり活動団体情報交換会</td><td>MTG 太白区まち課</td></tr> <tr> <td>10月6日</td><td>まちづくり活動団体情報交換会</td><td>MTG 青葉区まち課</td></tr> <tr> <td></td><td>まちづくり活動団体情報交換会</td><td>MTG 泉区まち課</td></tr> <tr> <td>11月5日</td><td>まちづくり活動団体情報交換会</td><td>実施</td></tr> <tr> <td>1月20日</td><td>まちづくり支援組織 拡大情報交換会</td><td></td></tr> </table>	5月24日	情報交換会	5区まちづくり推進課	8月9日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 宮城野区まち課	8月22日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 宮城野区まち課	9月15日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 宮城野区まち課	10月3日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 若林区まち課	10月4日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 太白区まち課	10月6日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 青葉区まち課		まちづくり活動団体情報交換会	MTG 泉区まち課	11月5日	まちづくり活動団体情報交換会	実施	1月20日	まちづくり支援組織 拡大情報交換会	
5月24日	情報交換会	5区まちづくり推進課																													
8月9日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 宮城野区まち課																													
8月22日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 宮城野区まち課																													
9月15日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 宮城野区まち課																													
10月3日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 若林区まち課																													
10月4日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 太白区まち課																													
10月6日	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 青葉区まち課																													
	まちづくり活動団体情報交換会	MTG 泉区まち課																													
11月5日	まちづくり活動団体情報交換会	実施																													
1月20日	まちづくり支援組織 拡大情報交換会																														
	・地域機関からの相談・依頼対応： (公財) 仙台ひと・まち交流財団(児童館)：広報講座対応 (公財) 仙台観光国際協会：広報講座対応 ・マチノワ WEEK 事業における各機関との連携： 各区まちづくり推進課、(公財) 仙台市市民文化事業団(せんだい演劇工房 10-B0X)、 仙台ミラソン実行委員会、(公財) せんだい男女共同参画財団、東北大学高度教養教育・学生支援機構、 仙台市起業支援センター、東北学院大学地域共生推進機構																														
	以上																														
添付	☐ 収支計算書 ☐ 広報物 ☐ 配布資料 ☐ アンケート結果 ☐ その他(まちづくり支援組織 拡大情報交換会 次第・参加者名簿)																														

個別事業報告書

事業名称	多様な主体による協働を推進するノウハウ共有
業務仕様	(4) 企画事業の実施 ③多様な主体による協働の推進 イ：協働の事例から、協働を進め、実現するためのノウハウ等を抽出し、ほかの協働事業や活動に活かすための事業の企画及び実施
事業目的	多様な主体による地域や社会の課題解決に向けた取り組みを検証し、そのノウハウを体系化して協働を行うために役立つ情報として提供し、協働の実践者を増やす。
事業効果	協働が生まれたプロセスや効果を知ることによって協働に対する理解が深まり、実践に向けて考えるきっかけが生まれる。結果、協働を実践する可能性が高まり、実践事例が生まれる。
成果	成果目標 ・次年度の協働事例の創出 3 件
	実施目標 ・年 3 回開催 ・延 60 名の参加者
	・平成 28 年 3 月と連続したテーマで実施。前回は横浜市の事例だったが、今回は仙台や東北の事例も扱い、より具体的な議論が可能となった。 ・市民センター職員が事業計画立案の参考にご参加され、今後の連携のきっかけとなった。 ・ゲスト 2 名と進行役が中心となり、参加者を巻き込んだ議論が展開できた。今後も同様の形式を基本に展開できる感触が得られた。
課題	・事業計画の遅れ、広報の遅れが響き、事前申込が 9 名と定員割れの状況だった。 ・取り上げるテーマが比較的専門的な内容であり、対象となる経営者やコアスタッフなどに届く広報が必要。
実施概要	1、事業名：せんだいマチノワ・ラボ～創発する協働へ～ (1) 概要 ①趣旨： 平成 27 年度の調査研究事業で提示した「課題発見機能の整備」に着目し、データから地域課題を可視化し、セクターを越えてアクションを引き出す仕組みについて、参加者の方々と一緒に考える場とする。 ②内容 ・日程：平成 28 年 11 月 5 日（土）16:00～18:00 ・会場：市民活動シアター ・ゲスト：鈴木祐司氏（公益財団法人地域創造基金さなぶり 事務局長） 佐藤芳治氏（NPO 法人都市デザインワークス 事務局長） ・参加者：23 名／定員 30 名 ・参加費：無料 ・対象：まちづくりに関連する行政担当者、市民活動者、地縁組織に所属する方、地域課題の取組む企業・市民・市民活動者など
添付	☒ 広報物 ☒ 配布資料 ☐ アンケート結果 ☐ その他（ ）

個別事業報告書

事業名称	市民社会形成に必要な施策検討に向けた調査研究【新規】		
業務仕様	(5) 調査研究及び提案 ① 市民活動、協働等に関する調査研究及びその成果の公表		
事業目的	仙台の市民社会のあり方とあり方を支える仕組み（施策）を検討・試行し、協働によるまちづくり・地域づくりを推進する。		
事業効果	協働によるまちづくり・地域づくりを推進するのに効果的な手法が開発され、施策として実践的に取り組まれた結果、地域や都市で協働によるまちづくりが活発に行われる。		
成果	成果目標	・平成29年度以降の実証実験のスキームを検討する。	
	実施目標	・特になし	
	・5年間の調査ロードマップの予定通り、「課題解決の実施主体への支援策」「アセスメント・コンサルティング一体の伴走型支援」「課題収集・課題発見の重要性」等の考え方を導き出し、「社会課題解決のプラットフォーム」及び「課題発見手法の開発と試行」の2点を実証実験で取り組む方向性を定めた。 ・また、仙台市の「協働まちづくり推進事業」におけるサポートチームの支援体制の検討過程にて、「アセスメント・コンサルティング一体の伴走型支援」を提案し、一部採用され施策した。		
課題	・「課題解決プラットフォーム」は時流に応じて必要な形態や支援策が変わるため、枠組みを構築してから始めるというよりは、可能な範囲で試行しながら時代に適応させながら必要な形態を模索していくことが必要である。		
実施概要	1、事業全体像【詳細は添付報告書を参照】 平成28年度は、さらなる調査により平成27年度の調査結果を補足し、仮説設定を行う。 また、仮説を基に平成29年度以降の実証実験のスキームを検討する。		
	平成27年度 仮説検討材料収集 調査による成果はあったが、下記課題への対応が必要。 1、仮説設定における検討材料不足 2、仙台市の各種方針等との関連性 ↑ 条例改正 協働によるまちづくりの推進に関する条例 ・基本理念：自立、連携、創発 ・サポセン：市民活動推進及び協働まちづくりの推進拠点 →自立、連携、創発のエンジンとしての役割が必要 平成28年度 調査活動 (1) 仙台市の地域・市民活動支援に関する基礎調査 ・支援策の現状把握 ・施策の不足点把握 (2) 先進事例調査 ・地域経営のあり方 ・発見・持続段階における支援策の先進事例について → 仮説設定 調査活動により、27年度の調査を補足し、下記の仮説を設定する。 ・仙台における市民社会のあり方 ・上記実現のための行政施策 ↓ 調査報告会 調査活動の結果及び仮説提示 ・多様な主体との意見交換 → 仮説の補強 調査活動により導き出した仮説を修正、補強する。 仮説を基に、29年度以降の実証実験のスキームを検討する。 平成29年度 実証実験（仮） 平成28年度の結果により検討されたスキームの実証実験を行い、仮説を検証する。 【実験例】 (1) 地域へのアウトリーチ事業 (2) サポートセンターの支援メニューの開発 図1：平成28年度調査研究事業の全体像		
2、事業概要 (1) 仙台市の地域・市民活動支援に関する基礎調査 仙台市における地域主体、市民主体のまちづくり活動の全体像を掴むため、協働によるまち			

	づくりの先駆的事例である「仙台市の福祉のまちづくり」の把握を行う。 ①ヒアリング調査先 ・「障害福祉」阿部一彦氏（東北福祉大学教授） ・「介護保険」田所英賢氏（NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター） （２）先進事例調査 今後の社会状況変化及び改正条例の理念を踏まえ、下記 2 点の先進事例調査を実施し、5 年目（平成 31 年度）での政策提言へ向けた根拠とする。 →「地域経営」のあり方について →「自立、連携、創発」の考え方における支援策について ①調査先 ・デザインクリエイティブセンター神戸（KIITO） ・片平地区連合町内会 3、実施体制 本調査研究事業は、仙台市市民活動サポートセンター内部での実施でなく、専門性ある団体の知見を交えて調査研究を進めるため、下記の事業者業務を再委託して実施した。 ・特定非営利活動法人都市デザインワークス ・一般社団法人パーソナルサポートセンター 【内部体制】 事業責任者：菊地竜生、副責任者：太田 貴 事業担当者：事業運営部門 調査企画チーム（鈴木美紀、嶋村威臣）
添付	☐ 広報物 ☐ 配布資料 ☐ アンケート結果 ☒ その他（調査報告書）